



九州旅客鉄道株式会社

KYUSHU RAILWAY COMPANY



# FACT SHEETS 2017



## 目次

### 1. 会社概要

- p1 ..... 事業内容・収益構造
- p2 ..... 路線概要
- p3 ..... グループ会社一覧
- p4 ..... JR九州グループ  
中期経営計画2016-2018

### 2. 外部環境

- p5 ..... 九州の人口動態と域内総生産
- p6 ..... 他輸送機関との比較
- p7 ..... インバウンド需要

### 3. 事業内容

- 【鉄道事業】
- p8 ..... 安全とサービスに関する取り組み
- p9 ..... 九州新幹線・特急列車ネットワーク
- p10 ..... 輸送サービスの改善
- p11 ..... D&S(デザイン&ストーリー)列車・  
クルーズトレイン「ななつ星in九州」
- p12 ..... 整備新幹線
- 【非鉄道事業】
- p13~14 ..... 駅ビル・不動産事業の展開
- p15~17 ..... その他事業の展開
- p18 ..... 今後の開発計画
- 【環境】
- p19 ..... 環境への取り組み

### 4. データ

- p20 ..... 社員の状況
- p21 ..... 設備投資額の推移(単体)
- p22~23 ..... 決算データ
- p24 ..... 鉄道運輸収入の推移
- p25 ..... 輸送データ
- p26 ..... ハイライト

# 1. 会社概要

## 2. 外部環境

## 3. 事業内容

## 4. データ

### 事業内容 (2017年4月1日現在)

設立 ..... 1987年4月1日

本社 ..... 福岡市博多区博多駅前3丁目25番21号

資本金 ..... 160億円

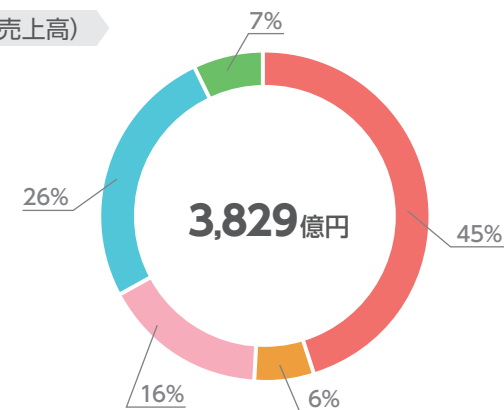
発行済株式数 ..... 160,000,000株

子会社・関連会社 ..... 子会社 40社  
(うち連結子会社36社)  
関連会社 4社  
(うち持分法適用関連会社1社)

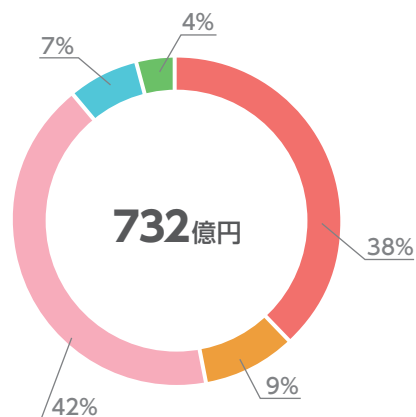


### 収益構造 (2017年3月期・連結)

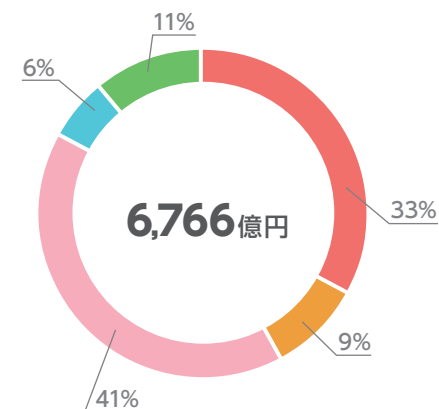
営業収益 (外部売上高)



EBITDA\*



資産 (2017年3月31日現在)



■ 運輸サービス ■ 建設 ■ 駅ビル・不動産 ■ 流通・外食 ■ その他

\* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (セグメント間取引消去後)

### 運輸サービス

#### ・鉄道事業

営業キロ ..... 2273.0km(22線区)

駅数 ..... 567駅

車両数 ..... 1,667両

輸送人員\* ..... 331百万人

輸送量\* ..... 9,191百万人キロ

(再掲)新幹線 ..... 1,852百万人キロ

#### ・バス事業

#### ・船舶事業

#### ・レンタカー業

※2017年3月期実績

### 建設

建設業、車両機械設備工事業、電気工事業等

### 駅ビル・不動産

不動産賃貸業(商業施設、オフィス、マンション等)、  
不動産販売業(分譲マンション)等

### 流通・外食

小売業、飲食業、農業

### その他

ホテル業、ゴルフ場経営、複合観光施設の運営、  
広告業、物品賃貸業、シニア事業等

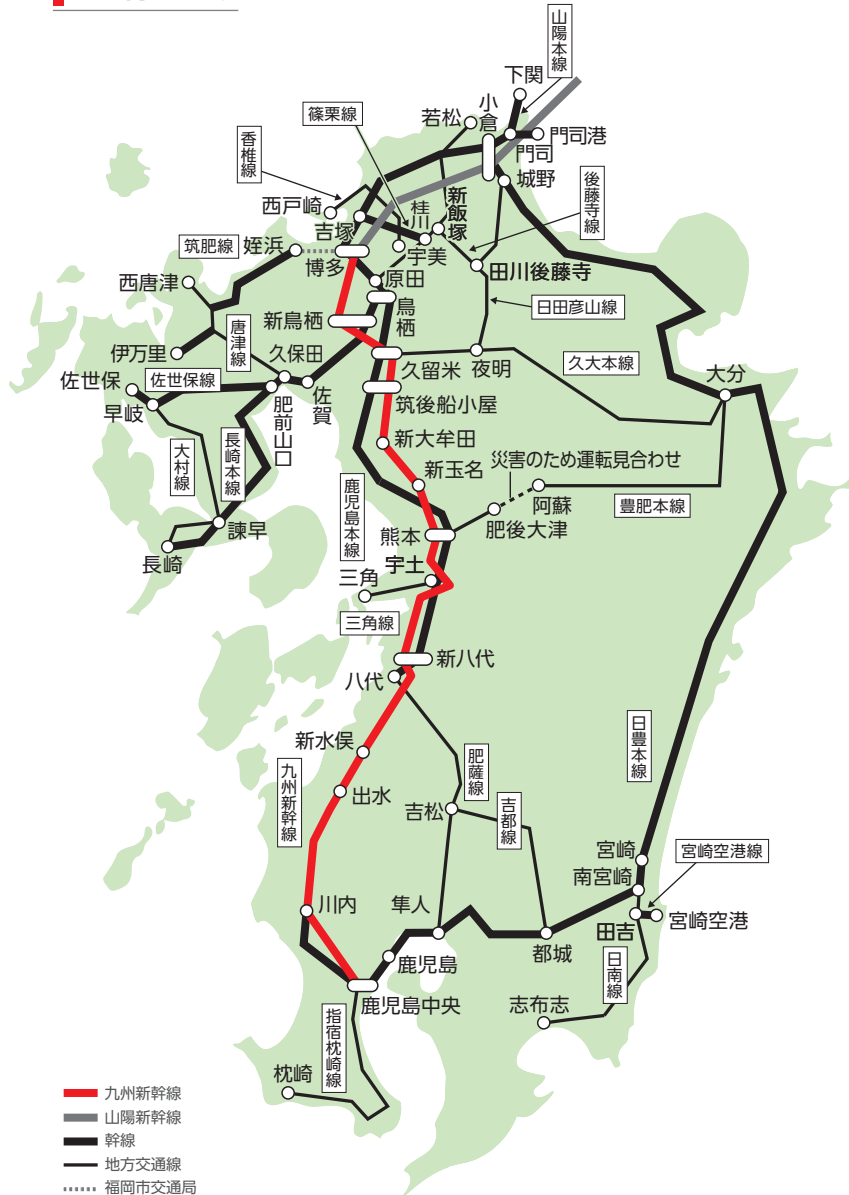
# 1. 会社概要

## 2. 外部環境

## 3. 事業内容

## 4. データ

### 路線概要



### 在来線



813系  
 運行区間 : 福岡都市圏など  
 編成 : 3～9両  
 最高速度 : 120km/h



特急「ソニック」 883系  
 運行区間 : 博多～大分  
 編成 : 7両  
 最高速度 : 130km/h

### 新幹線



九州新幹線 新800系  
 運行区間 : 博多～鹿児島中央  
 編成 : 6両  
 最高速度 : 260km/h



山陽・九州新幹線 N700系  
 運行区間 : 新大阪～鹿児島中央  
 編成 : 8両  
 最高速度 : 260km/h  
 (山陽新幹線管内は300km/h)

線名	区間	営業キロ (km)	駅数	複線化率 (%)	CTC化率 (%)	電化率 (%)	最高速度 (km/h)
新幹線	九州新幹線	博多～鹿児島中央	288.9	4(11)	100	100	260
	小計		288.9	4(11)	100	100	—
幹線	山陽本線	下関～門司	6.3	—	100	—	95
	鹿児島本線	川内～鹿児島	281.6	96	66	100	130
	日豊本線	小倉～鹿児島	462.6	109	26	100	130
	長崎本線	鳥栖～長崎	148.8	40	32	100	84
	佐世保線	肥前山口～佐世保	48.8	13	—	100	95
	筑肥線	姪浜～伊万里	68.3	28	19	100	62
	篠栗線	桂川～吉塚	25.1	9	—	100	100
	宮崎空港線	田吉～宮崎空港	1.4	1	—	100	85
	小計		1,042.9	296	43	99	95
	地方交通線	筑豊本線	若松～原田	66.1	23	60	100
大村線		早岐～諫早	47.6	11	—	—	10
香椎線		西戸崎～宇美	25.4	14	—	100	—
唐津線		久保田～西唐津	42.5	12	—	100	5
日田彦山線		城野～夜明	68.7	22	—	100	—
後藤寺線		新飯塚～田川後藤寺	13.3	4	—	100	—
久大本線		久留米～大分	141.5	35	—	100	—
豊肥本線		熊本～大分	148.0	35	—	100	15
肥薩線		八代～隼人	124.2	26	—	—	—
三角線		宇土～三角	25.6	8	—	—	—
指宿枕崎線		鹿児島中央～枕崎	87.8	35	—	100	—
吉都線		都城～吉松	61.6	15	—	—	—
日南線	南宮崎～志布志	88.9	27	—	2	2	
小計		941.2	267	4	63	7	
合計		2,273.0	567	34	85	59	

※駅数中( )内は、新幹線と在来線の併設駅を含めた駅数

# 1. 会社概要

## 2. 外部環境

## 3. 事業内容

## 4. データ

### グループ会社一覧 (2017年4月1日現在)

	会社名	主な事業内容	資本金 (百万円)	議決権の 所有割合(%)
運輸サービス	JR九州メンテナンス(株)	車両整備、駅・車両・ビル清掃・管理	45	100.0
	JR九州鉄道営業(株)	駅業務受託	51	100.0
	JR九州バス(株)	旅客自動車運送事業(高速・貸切・乗合)	100	100.0
	JR九州高速船(株)	海上運送事業(ビートル)	100	100.0
	JR九州レンタカー&パーキング(株)	レンタカー事業・駐車場の開発・運営事業	20	100.0
建設	JR九州リネン(株)	リネンサプライ業	30	100.0
	九鉄工業(株)	建設業	216	72.5
	(株)ケイ・エス・ケイ	車両機械設備工事業	100	100.0
	三軌建設(株)	建設業	110	81.6
	九州電気システム(株)	電気工事業、電気通信工事業	92	100.0
	JR九州コンサルタンツ(株)	建設コンサルタント業、設計業	20	100.0
	JR九州住宅(株)	注文住宅建設・販売、リフォーム	100	100.0
	(株)JR博多シティ	駅ビル管理・運営	1,150	100.0
	小倉ターミナルビル(株)	駅ビル管理・運営、ホテル経営	100	100.0
	長崎ターミナルビル(株)	駅ビル管理・運営	480	100.0
駅ビル・不動産	(株)JR大分シティ	駅ビル管理・運営	100	100.0
	鹿児島ターミナルビル(株)	駅ビル管理・運営	480	100.0
	JR九州ビルマネジメント(株)	駅ビルおよびロードサイド店舗管理・運営	100	100.0
	JR九州リテール(株)	コンビニエンスストア事業・駅売店等の運営	490	100.0
	JR九州ドラッグイレブン(株)	ドラッグストア(ドラッグイレブン)・調剤薬局の経営	100	92.7
	JR九州フードサービス(株)	飲食店(居酒屋・麺等)、軽食・弁当販売	100	100.0
	JR九州ファーストフーズ(株)	飲食店(ファストフード店)	100	100.0
	(株)トランドール	パン類製造・販売	100	65.0
	JR九州ファーム(株)	農産品の生産、加工、販売	100	42.0
	観光レジャー	JR九州ハウステンボスホテル(株)	ホテル経営(ホテルオークラJRハウステンボス)	100
JR九州ホテルズ(株)		ホテル・旅館経営	100	100.0
JR九州リゾート開発(株)		ゴルフ場経営(JR内野カントリークラブ)	100	90.0
(株)おおやま夢工房		宿泊施設・温浴施設・道の駅の運営	180	72.2
ビジネスサービス		JR九州商事(株)	物資の売買業、貨物自動車運送事業	30
	JR九州フィナンシャルマネジメント(株)	物品賃貸業	400	100.0
	JR九州エージェンシー(株)	広告業	30	100.0
	JR九州セコム(株)*	総合警備業	100	50.0
	JR九州ライフサービス(株)	寮管理・給食・清掃業務受託	10	100.0
	JR九州システムソリューションズ(株)	通信・情報処理提供、給与厚生業務受託	80	100.0
	JR九州シニアライフサポート(株)	有料老人ホーム運営	400	100.0

\*持分法適用関連会社

#### 運輸サービス



JR九州メンテナンス(株)



JR九州鉄道営業(株)

#### 建設



九鉄工業(株)



(株)ケイ・エス・ケイ

#### 駅ビル・不動産



(株)JR博多シティ



長崎ターミナルビル(株)

#### 流通・外食



JR九州フードサービス(株)



JR九州リテール(株)

#### 観光・レジャー



JR九州ハウステンボスホテル(株)



JR九州リゾート開発(株)

#### ビジネスサービス



JR九州シニアライフサポート(株)



JR九州商事(株)

## JR九州グループ中期経営計画2016-2018

JR九州グループのあるべき姿

安全とサービスを基盤として  
九州、日本、そしてアジアの  
元気をつくる企業グループ

JR九州グループのおこない

誠実 成長と進化 地域を元気に

### 「誠実」

J R九州グループのDNAとして、あらゆる行動の規範として継承  
嘘や偽りやごまかしがなく、手間を惜みず、J R九州グループに関わる  
すべての人たちのことを思いやり、正義と良心に従って行動する

### 「成長と進化」

情熱と勇気をもって、成長と進化を遂げていく  
挑戦をたたえる風土をつくり、J R九州グループとともに  
社員一人ひとりも成長と進化を続け、新たなお客さまをつくる

### 「地域を元気に」

地域の元気がなければ、J R九州グループが元気になることはない  
よりよい交通ネットワークをつくり、まちをつくり、  
豊かなくらしをつくることで、地域の元気をつくる

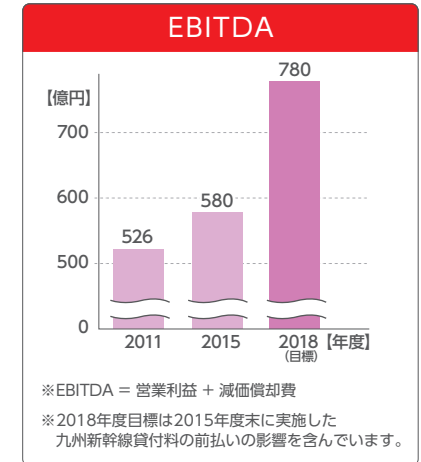
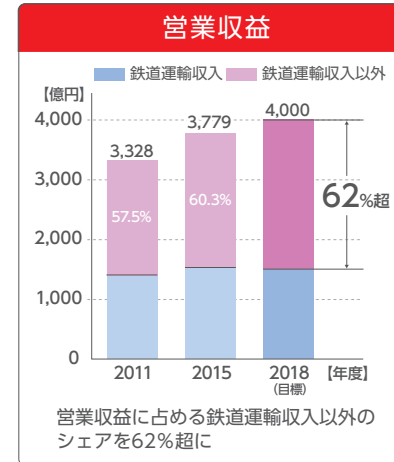
## 経営数値目標

▶ 連結数値目標(2018年度)

- ・ 営業収益 **4,000**億円
- ・ EBITDA **780**億円

【参考】

設備投資額 **1,900**億円(2016~2018年度総額)  
(主な内訳) 鉄道事業における安全投資 650億円  
成長投資 800億円



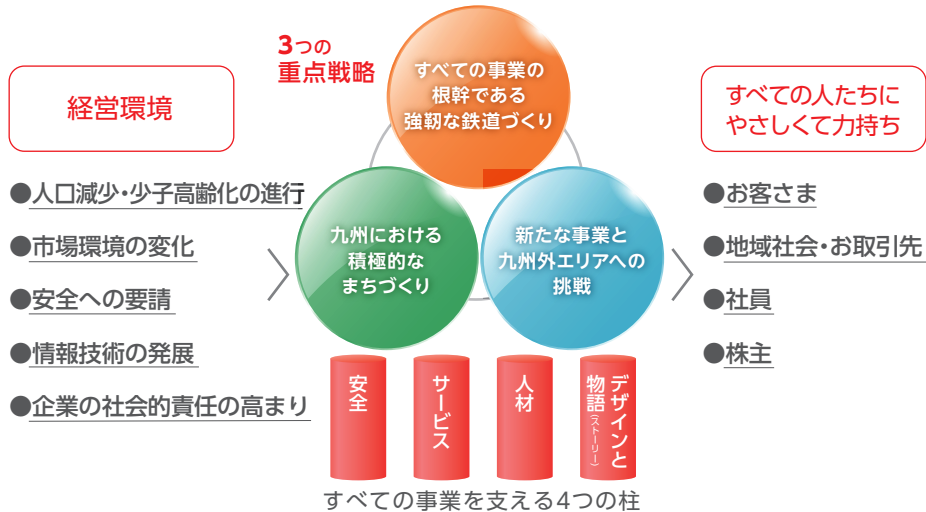
## 中期経営計画 2016-2018の位置づけ

やさしくて力持ちの“総合的なまちづくり企業グループ”を目指す

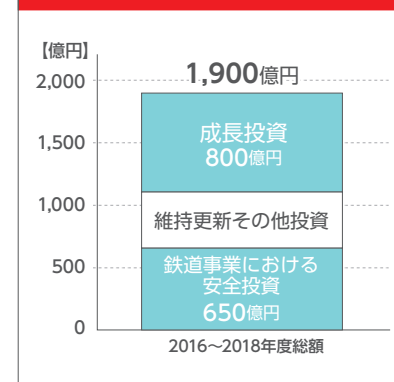
地域の発展に貢献する長期持続的な事業活動を可能とする強固な経営基盤づくりをさらに加速させる

## 中期経営計画 2016-2018の基本方針

目まぐるしく変化する経営環境を踏まえて、4つの柱をより強固なものとし、3つの重点戦略を積極的に推進するこれらの取り組みにより、J R九州グループに関わるすべての人たちにやさしくて力持ちであり続ける



### 【参考】設備投資額



JR九州グループのあるべき姿、本中期経営計画の目標達成に向け、得られるキャッシュフローを「鉄道事業における安全投資」、「成長投資」を中心に充当します。また、安定的に配当を実施することを目指します。

### 九州の人口動態と域内総生産



	全国		九州		全国比
	人口	変化	人口	変化	
2010年	128,057	-	13,204	-	10.3%
2015年	127,095	100	13,016	100	10.2%
2020年	124,100	98.0	12,604	97.4	10.2%
2025年	120,659	95.3	12,196	94.2	10.1%
2030年	116,618	92.1	11,747	90.7	10.1%
2035年	112,124	88.6	11,265	87.0	10.0%
2040年	107,276	84.7	10,746	83.0	10.0%

[単位]人口:千人  
[変化]2015年を100とした指数 [全国比]全国における九州の占める割合  
[出典]国立社会保障・人口問題研究所「都道府県将来推計人口(2015年3月推計)」  
総務省「平成22年国勢調査」「平成27年国勢調査」

福岡県	人口	変化
2010年	5,072	-
2015年	5,102	100
2020年	4,968	97.6
2025年	4,856	95.4
2030年	4,718	92.7
2035年	4,559	89.5
2040年	4,379	86.0

佐賀県	人口	変化
2010年	850	-
2015年	833	100
2020年	803	96.1
2025年	775	92.8
2030年	745	89.2
2035年	714	85.5
2040年	680	81.5

大分県	人口	変化
2010年	1,197	-
2015年	1,166	100
2020年	1,134	96.9
2025年	1,094	93.4
2030年	1,050	89.7
2035年	1,004	85.7
2040年	955	81.6

宮崎県	人口	変化
2010年	1,135	-
2015年	1,104	100
2020年	1,073	96.3
2025年	1,034	92.8
2030年	991	89.0
2035年	947	85.0
2040年	901	80.8

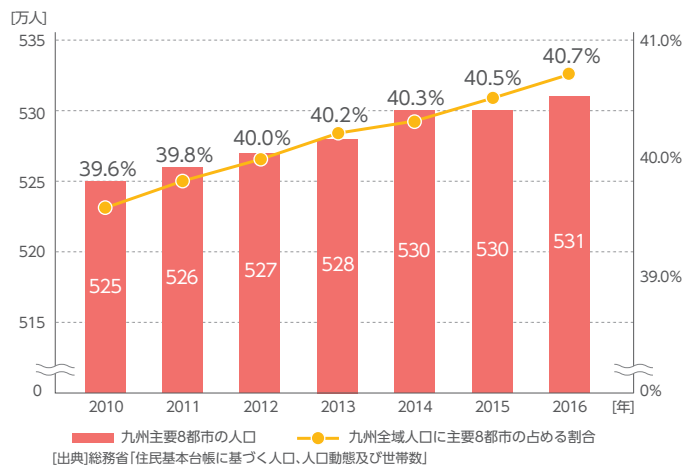
熊本県	人口	変化
2010年	1,817	-
2015年	1,786	100
2020年	1,725	96.1
2025年	1,666	92.9
2030年	1,603	89.4
2035年	1,538	85.7
2040年	1,467	81.8

鹿児島県	人口	変化
2010年	1,706	-
2015年	1,648	100
2020年	1,588	95.2
2025年	1,522	91.2
2030年	1,454	87.2
2035年	1,386	83.1
2040年	1,314	78.8

長崎県	人口	変化
2010年	1,427	-
2015年	1,377	100
2020年	1,313	94.7
2025年	1,250	90.2
2030年	1,185	85.5
2035年	1,118	80.6
2040年	1,049	75.7

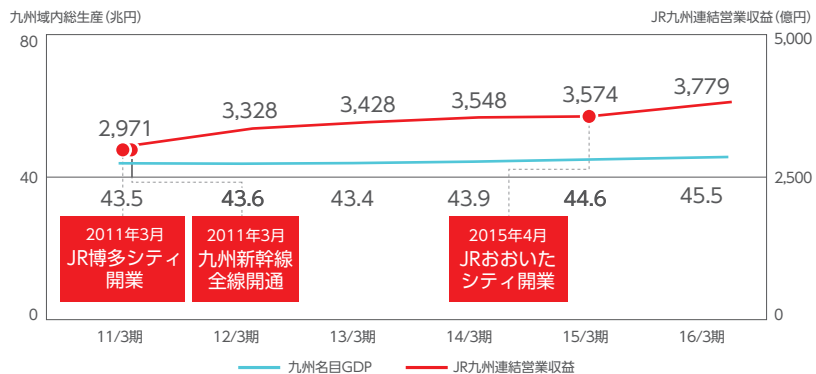
### 九州主要都市の人口のシェアの推移

2010年～2016年



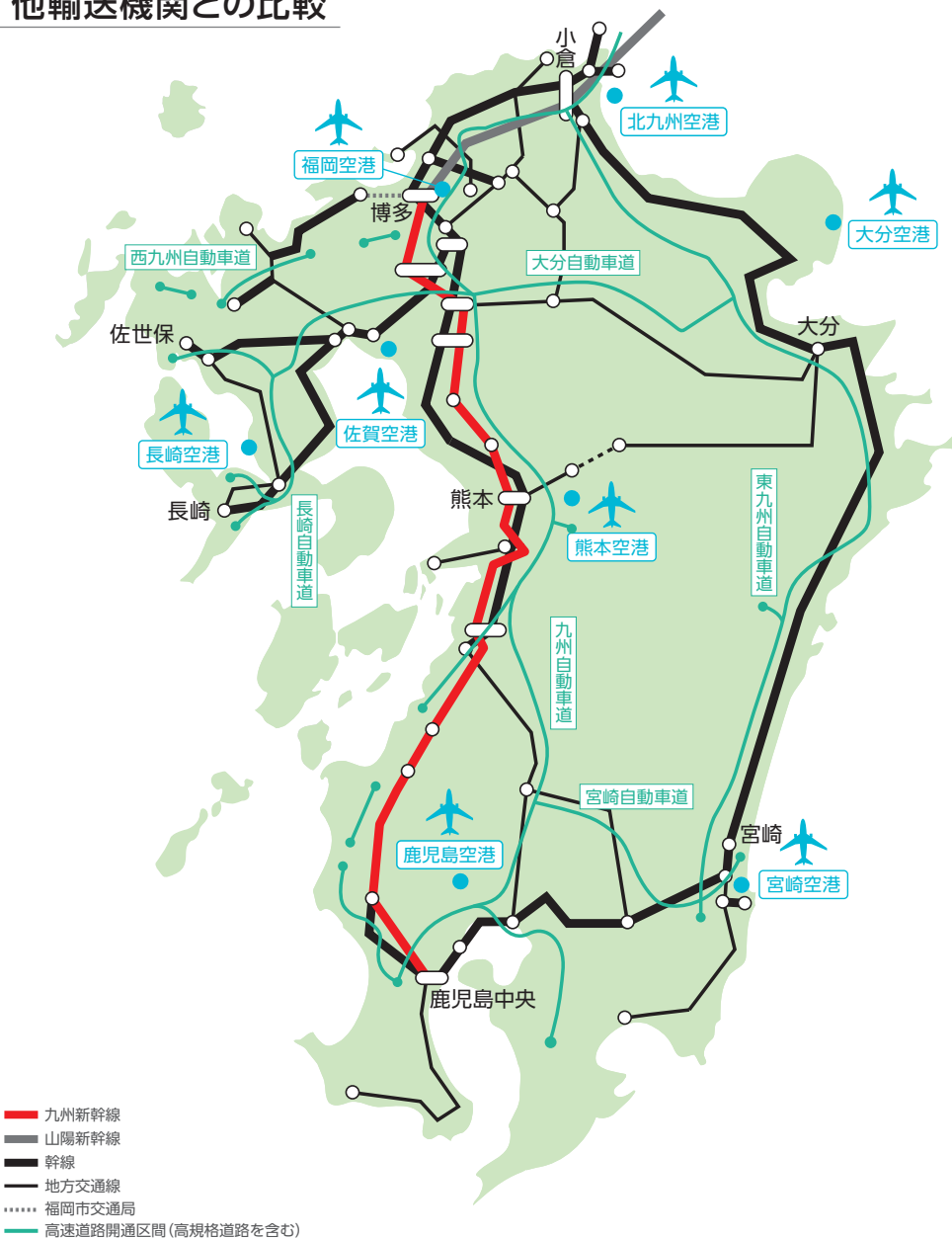
### 九州域内総生産(名目GDP)※とJR九州連結営業収益

2011/3期～2016/3期



[出典]内閣府「県民経済計算」「国民経済計算」  
※2015/3期及び2016/3期の九州の域内総生産は、内閣府「県民経済計算」及び「国民経済計算」に基づき、九州域内総生産(2014/3期)の全国比(9.1%)を、2015/3期及び2016/3期の日本全体の名目GDPにそれぞれ乗じることで算出

他輸送機関との比較



博多～熊本

	本数	所要時間	運賃(円)
JR	116	0:32	3,730
バス	200	2:00	1,645

博多～鹿児島中央

	本数	所要時間	運賃(円)
JR	71	1:16	9,450
バス	42	4:15	3,855

※バス運転本数は夜行便含む

博多～長崎

	本数	所要時間	運賃(円)
JR	52	1:50	2,750
バス	112	2:07	2,058

博多～佐世保

	本数	所要時間	運賃(円)
JR	32	1:42	2,210
バス	67	1:51	1,800

博多～別府・大分

	本数	所要時間	運賃(円)
JR	65	2:01	2,750
バス	104	2:18	2,055

博多～宮崎

	本数	所要時間	運賃(円)
JR	23	5:10	5,660
JR	18	3:31	10,800
JR+バス	32	3:00	7,000
バス	56	4:09	3,700

※JRの上段は小倉経由。下段は鹿児島中央経由※JR+バスはB&Sみやぎ経由

長崎～新大阪

	本数	所要時間	運賃(円)
JR	40	4:27	16,030
航空機(伊丹空港)	14	3:05	22,900

熊本～新大阪

	本数	所要時間	運賃(円)
JR	47	2:57	16,780
航空機(伊丹空港)	20	3:05	18,100

大分～新大阪

	本数	所要時間	運賃(円)
JR	61	3:35	15,220
航空機(伊丹空港)	14	3:00	18,050

鹿児島～新大阪

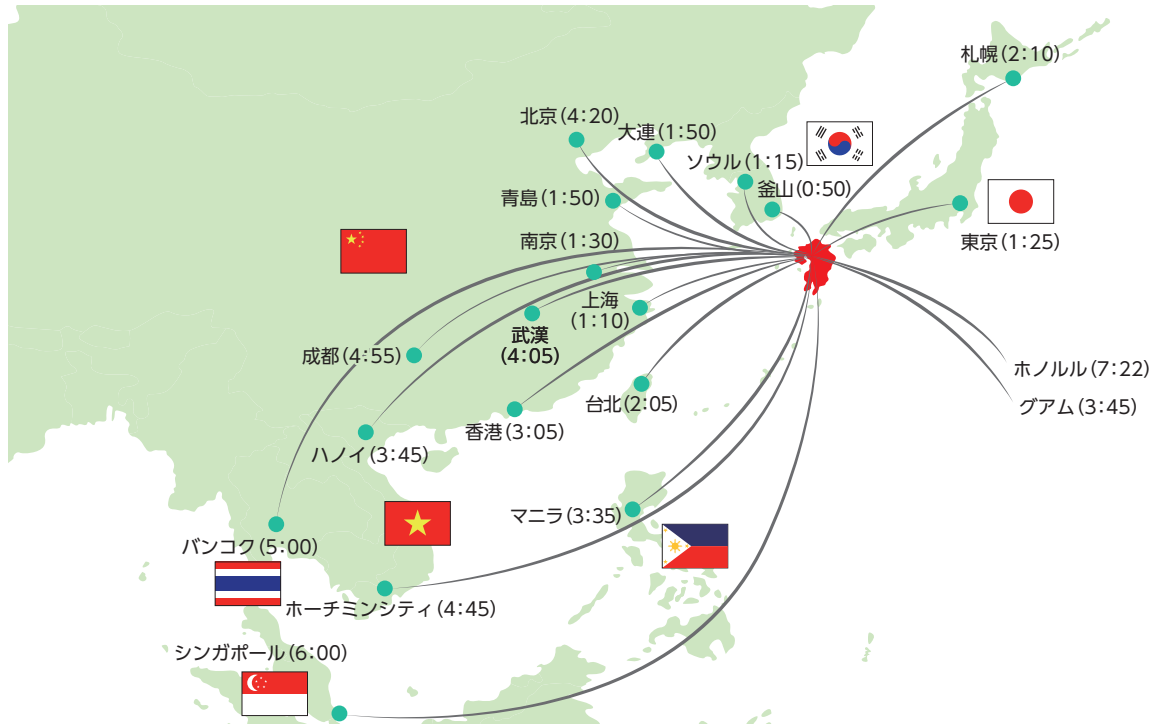
	本数	所要時間	運賃(円)
JR	45	3:41	20,140
航空機(伊丹空港)	26	2:53	22,250

※①運転本数(平日上下合計)、所要時間(最速時間)、運賃は2017年4月1日現在  
 ②航空機所要時間は概算。市中心部～空港間の移動時間に加えて、「空港リムジンバス」または「空港最寄駅」から搭乗口までの移動時間を10分、搭乗口での待ち時間を20分で算出  
 ③九州内のJR、バスの運賃は回数券タイプの1枚あたり  
 ④九州各地から新大阪のJRの運賃は「eきっぷ」、航空機の運賃は「特便割引1」「特便1」のいずれか安い航空機運賃に市中心部～空港間の交通機関運賃を加算

## インバウンド需要

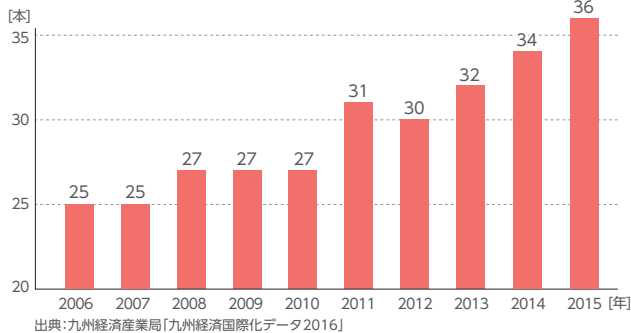
### アジア主要都市からの所要時間

(地図上の所要時間は2016年2~3月時点の航空ダイヤに基づく、福岡を起点とした最短所要時間)

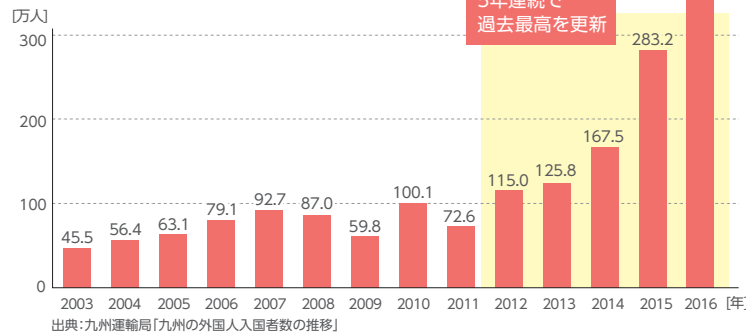


[出所]九州経済産業局「九州経済の現状2016年冬」

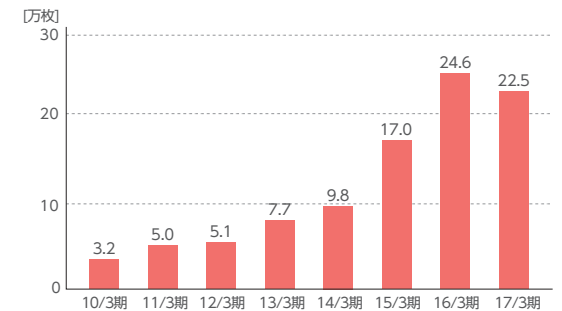
### 九州発着の国際航空路線数



### 九州への外国人入国者数の推移



### 「JR九州レールパス」販売枚数の推移



### 海外企業との積極的協力

- LCC香港エクスプレス内での「九州レールパス」の販売
- 複数の海外旅行会社と「ななつ星in九州」の共同販売契約の締結



### JR九州レールパスの販売促進

- 熊本地震の影響に加えて、LCCなどの国際線の撤退及び減便の影響を受けて、初の前年割れ
- 南部九州版レールパスの新規設定
- 海外の旅行会社、航空会社との連携及び旅行博への出展等を通じた販売促進



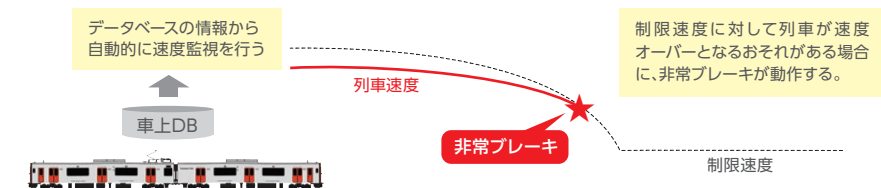


## 安全とサービスに関する取り組み

### 安全に関する取り組み

#### 新しい自動列車停止装置(ATS-DK)の整備

在来線で、列車運行の安全性をより高めた新しい自動列車停止装置として、「ATS-DK」を開発、順次整備を進めています。この新型ATSは、これまでの信号機の停止信号に加え、曲線や分岐器等の制限速度に対して速度オーバーとなるおそれがある場合に、列車を停止させることができます。現在、車両は全て整備を完了、地上設備は国により期限を定められた対象区間は完了し、その他の区間も計画的に整備を進めています。

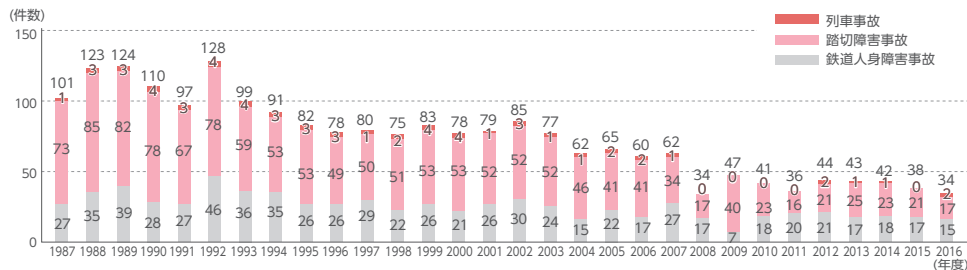


#### ホーム上の安全対策

ホーム上での列車との接触や転落による事故を防止するため、視覚障害者を安全に誘導する「内方線付き点状ブロック」や、転落などの危険な事象の発生に備えた「列車非常停止装置(SOSボタン)」の整備拡大を進めています。また九州新幹線ではすべてのホームに可動柵を設置しています。



#### 鉄道運転事故の発生状況

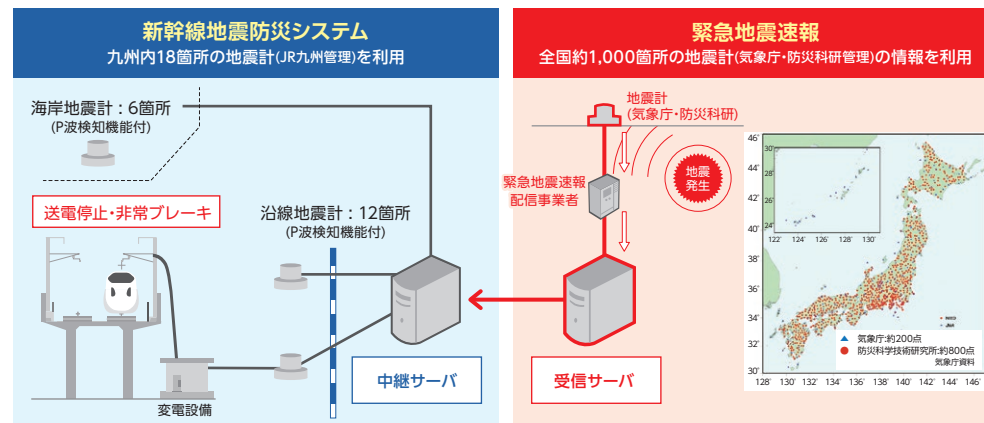


鉄道運転事故

列車事故 : 列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故  
 踏切障害事故 : 踏切道において、列車又は車両が人又は自動車等と衝突し、又は接触したものの  
 鉄道人身障害事故 : 列車又は車両の運転により人の死傷を生じたもの

#### 地震防災システム

九州新幹線では、地震を検知すると自動的に送電を停止し、列車に非常ブレーキをかけるシステムがあります。沿線12箇所、海岸6箇所に設置した地震計は、地震P波(初期微動)も検知可能である他、気象庁の緊急地震速報もシステムに組み込み、より早期に列車を停止させます。



### サービスに関する取り組み

#### バリアフリー整備状況

区分	乗降5,000人/日以上の駅			乗降3,000人/日 5,000人/日未満以上の駅		
	整備済	駅数	今後整備予定	整備済	駅数	今後整備予定
福岡市	姪浜、筑前前原、箱崎、福工大前、吉塚、博多、千早、春菜、九大学研都市、南船寺、九産大前、今宿、竹下、志原、海福間、小山門	16	—	和臼	1	—
福岡県	北九州市 門司港、小倉、戸畑、スペースワールド、西小倉、黒崎、門司、下管線、八幡、城野、南小倉、九州工大前、枝光	13	折尾、安部山公園	2	陣原、杵築	2
	上記以外	22	—	宇美、東福岡、刈田、中間、宇器、教育大前、水巻	7	天理山、桂川、水城、小波瀬西工大前
佐賀県	唐橋、基山、佐賀	3	—	唐津、武雄温泉、新唐津	3	神埼
長崎県	長崎、佐世保、諫早	3	浦上	1	ハウステンボス、喜々津、長与、早岐、大村	5
熊本県	水前寺、熊本、玉名、新水前寺、肥後大津	5	—	—	6	武蔵塚、東海学園前
大分県	別府、中津、大分	3	—	—	2	鶴崎、大在、別府大学、鳥城
宮崎県	宮崎	1	—	—	1	—
		—	—	南宮崎	1	—
鹿児島県	鹿児島中央、川内、谷山	3	国分	1	坂之上、伊集院	2
		—	—	—	2	牟田、鹿児島、上伊集院、加治木
合計	69	4	—	29	15	—

※乗降人員は2016年度値、整備実績は2017年3月31日現在



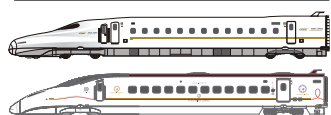
エレベーター(博多駅)



多目的トイレ(新幹線 N700系)

# 九州新幹線・特急列車ネットワーク

## 九州・山陽新幹線



新幹線「みずほ」/ 新大阪～鹿児島中央 1日6往復  
 新幹線「さくら」/ 新大阪～鹿児島中央 1日16往復  
 新大阪～熊本 1日上り1本  
 広島～鹿児島中央 1日1往復  
 新下関～鹿児島中央 1日下り1本  
 博多～鹿児島中央 1日8往復  
 新幹線「つばめ」/ 博多～鹿児島中央 1日上り6本・下り2本(休日下り4本)  
 博多～熊本 1日上り19本・下り23本(休日22本)  
 博多～筑後船小屋 1日1往復  
 熊本～鹿児島中央 1日上り1本・下り2本  
 川内～鹿児島中央 1日1往復

### ■スピードアップ(最短到達時分)

博多～鹿児島中央 4時間22分→1時間16分※1(3時間06分短縮)  
 博多～熊本 1時間25分→32分※1(53分短縮)

## 佐世保線・大村線



特急「みどり」/ 博多～佐世保 1日16往復



特急「ハウステンボス」/ 博多～ハウステンボス 1日4往復(多客期 8往復)

## 長崎本線



特急「かもめ」/ 博多～長崎 1日26往復(内16往復は「白いかもめ」)  
 通勤特急/ 博多～佐賀 1日上り4本・下り3本(土曜・休日下り4本)  
 肥前鹿島～博多 1日上り1本  
 長崎～諫早 平日上り1本

### ■スピードアップ(最短到達時分)

博多～長崎 2時間07分→1時間50分※1(17分短縮)



## 鹿児島本線



特急「有明」/ 博多(吉塚)～長洲 1日上り2本・下り3本  
 特急「きらめき」/ (門司港)小倉～博多 1日上り14本・下り11本(土曜・休日下り13本)

## 筑豊本線・篠栗線(福北ゆたか線)



特急「かいおう」/ 直方～桂川～博多 1日2往復

## 久大本線(ゆふ高原線)



特急「ゆふ」/ 博多～由布院～大分・別府 1日3往復※2

## 日豊本線・宮崎空港線



特急「ソニック」/ 博多～大分 1日29往復  
 (内10往復は「白いソニック」  
 ※土曜・休日11往復)  
 博多～大分～佐伯 1日2往復  
 (内1往復は「白いソニック」)  
 博多～柳ヶ浦 1日1往復

### ■スピードアップ(最短到達時分)

博多～大分 2時間42分→2時間01分※1(41分短縮)



特急「にちりん」「にちりんシーガイア」/  
 博多～宮崎空港 1日上り2本・下り1本  
 小倉～宮崎空港 1日下り1本  
 大分～宮崎(南宮崎・宮崎空港) 1日11往復  
 中津～大分 1日1往復  
 特急「ひゅうが」/ 延岡～宮崎(南宮崎・宮崎空港) 1日6往復  
 特急「きりしま」/  
 宮崎～鹿児島中央 1日10往復  
 宮崎～都城(西都城) 1日1往復  
 国分～鹿児島中央 1日1往復

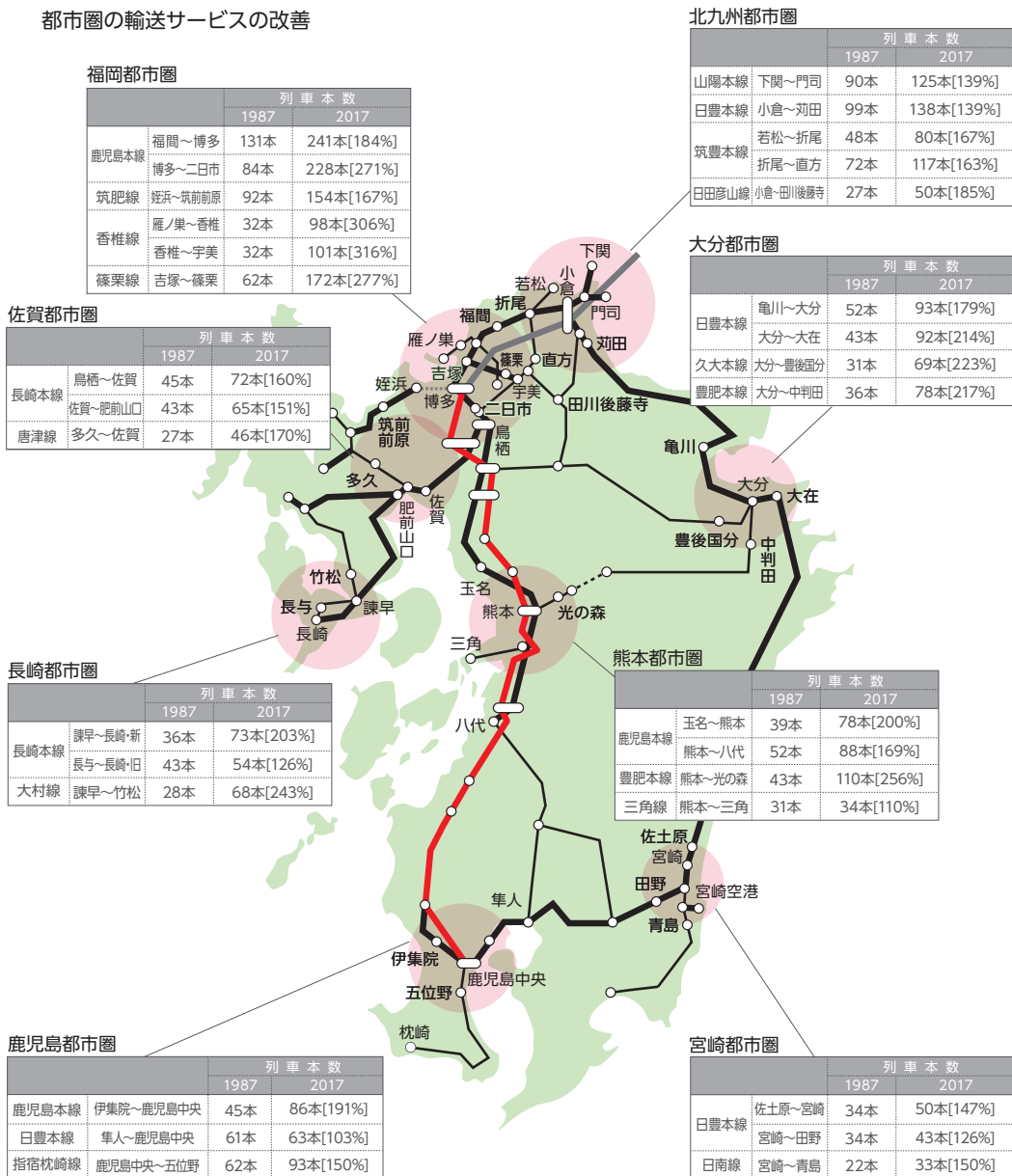


B&Sみやざき  
 新八代駅前～宮崎駅 1日16往復

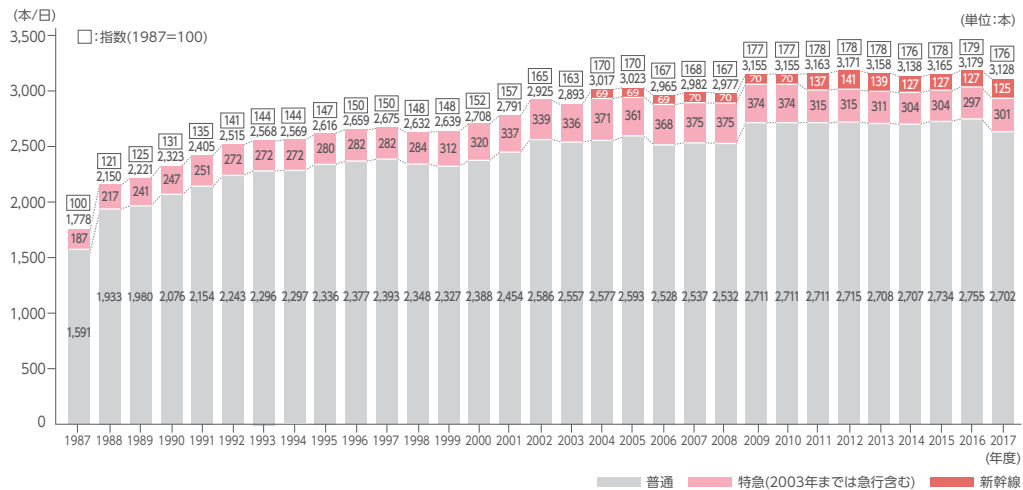
※1 スピードアップ(最短到達時分)は1987年4月と2017年3月との比較  
 ※2 災害に伴い運転区間・本数を変更して運行(2017年8月現在)

### 輸送サービスの改善

#### 都市圏の輸送サービスの改善



#### 列車本数の推移(年度初)



#### 車両別在籍車両数(2017年3月31日現在)

車両	SL 蒸気機関車	EL 電気機関車	DL ディーゼル機関車	TEC 新幹線	EC 電車	DC 気動車	PC 客車	その他	計
両数	1	0	9	142	1,153	318	10	34	1,667

#### 新製車両投入両数

車両形式	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	計	
800系(せくらづばめ)																		30	6			6	12							54		
N700系(みずさ)																								80		8					88	
885系(かもめ・ソニック)												42	20		4	3															69	
883系(ソニック)									21	14	15												6								56	
787系(みどり)						72	27	21				12	5			3															140	
783系(みどり)	29	28	27	6																											90	
BEC19系																															14	
817系																62		24	4		8										145	
815系														44																	52	
813系								18	21	24	30	60	24		6	17	9		18				27								254	
811系				40	24	4	44																								112	
303系													12			6															18	
305系																																36
キハ72(ゆいゆいの)																															5	
キハ183(みどり)					3		1																									4
キハ200・220						6	6	8	11									1		9				3								66
キハ125									11	14																						25
キハ31																																3
DF200																																1
77系(なつづつ)																																7
計	35	28	68	36	10	135	70	63	38	57	70	40	103	20	68	30	58	13	6	35	0	6	36	92	27	22	8	42	9	14	1,239	

※1 このうち、1993年度キハ200形1両、2001年度813系8両、811系2両、2002年度キハ200形1両、811系2両、2003年度885系3両、2016年度783系4両両車  
 ※2 2015年度815系8両(1999年製)を、豊肥本線高速鉄道保有(株)より購入

## D&S(デザイン&ストーリー)列車・クルーズトレイン「ななつ星in九州」



特急「ゆふいんの森」  
1989年3月11日 運行開始  
運転区間:博多～由布院・別府\*



特急「A列車で行こう」  
2011年10月8日 運行開始  
運転区間:熊本～三角



特急「SL人吉」  
2009年4月25日 運行開始  
運転区間:熊本～人吉

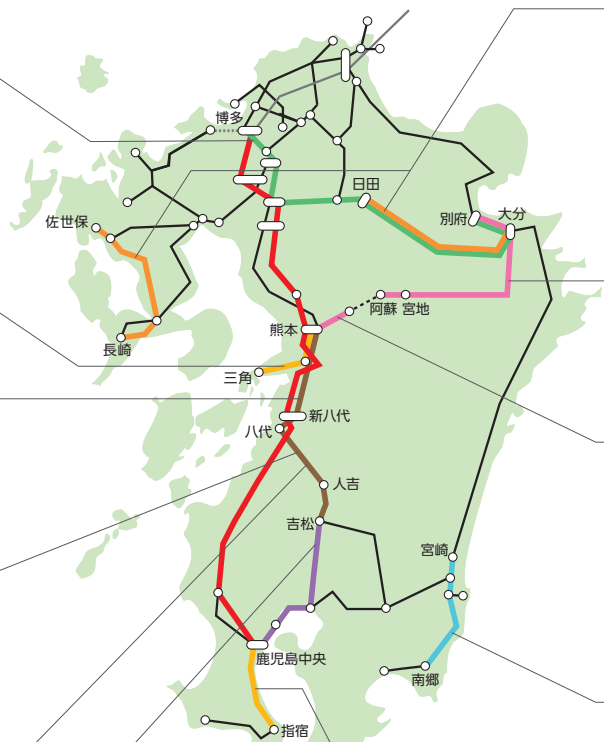


特急「かわせみ やませみ」  
2017年3月4日 運行開始  
運転区間:熊本～人吉



特急「いさごろう・しんぺい」  
1996年3月16日 運行開始  
運転区間:熊本～人吉～吉松

D&S列車：特別なデザイン(Design)と  
運行する地域に由来する物語(Story)を有する列車



特急「はやとの風」  
2004年3月13日 運行開始  
運転区間:鹿児島中央～吉松



特急「指宿のたまて箱」  
2011年3月13日 運行開始  
運転区間:鹿児島中央～指宿



JRKYUSHU SWEET TRAIN  
「或る列車」  
2015年8月8日 運行開始  
運転区間:大分～日田/佐世保～長崎



特急「九州横断特急」  
2004年3月13日 運行開始  
運転区間:別府～熊本\*



特急「あそぼーい!」  
2011年6月4日 運行開始  
運転区間:熊本～宮地\*



特急「海幸山幸」  
2009年10月10日 運行開始  
運転区間:宮崎～南郷

### ななつ星in九州

- 高い人気を誇る日本初の豪華クルーズトレイン  
予約申し込み倍率17倍  
(2017年10月～2018年2月出発分)
- 九州の認知度を高め、九州への旅行客増加に大きく貢献  
JR九州の観光列車の認知度を高め、他の列車の利用客増につなげる



\*災害に伴い運転区間・本数を変更して運行(2017年8月現在)

## 整備新幹線

九州新幹線は、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構により公共事業として建設され、JR九州は第一種鉄道事業者としてこの施設を借り受け、営業を行っています。

### 九州新幹線の概要

**認可着工区間**

区間 : 武雄温泉・長崎間  
 工事延長 : 約67km  
 線路規格 : 標準軌  
 概算工事費 : 約5,009億円  
 工事完成予定 : 武雄温泉・長崎間を一体として  
 諫早・長崎間の着工から概ね10年後  
 認可内容 : 用地・土木構造物関係、  
 軌道・電気等開業設備関係

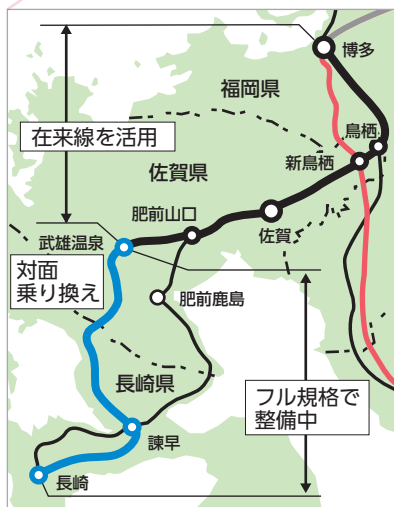


1998年3月 : スーパー特急方式で着工  
 (船小屋・新八代間)  
 2001年4月 : フル規格へ変更し全線着工  
 2011年3月12日 : 開業  
 工事費 : 8,920億円  
 (2009年8月4日認可額)

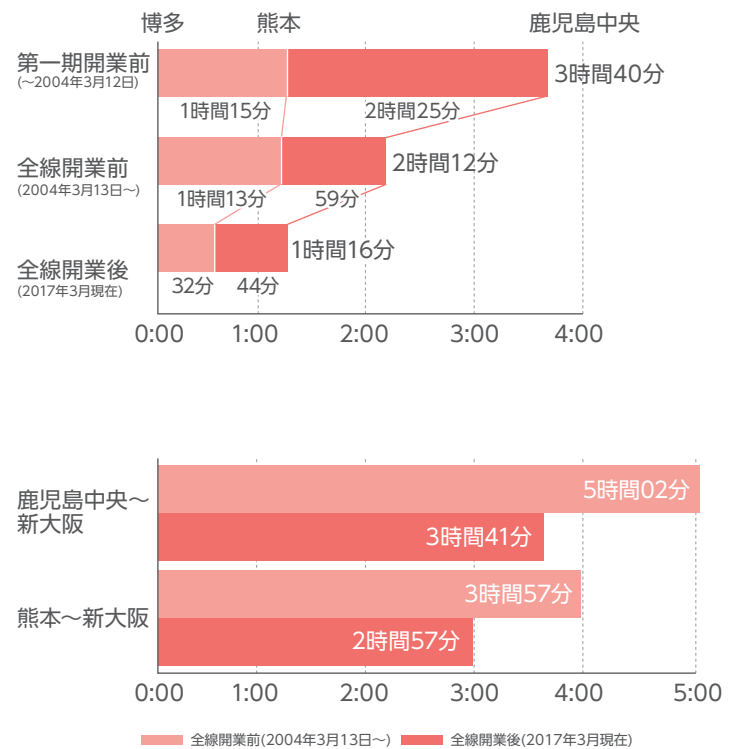
1991年9月 : スーパー特急方式で着工  
 2001年4月 : フル規格へ変更  
 2004年3月13日 : 開業  
 工事費 : 6,290億円

鹿児島ルート  
 新八代・鹿児島中央  
 博多・新八代  
 西九州ルート(長崎ルート)  
 武雄温泉・長崎  
 山陽新幹線

— 在来線  
 - - - 肥薩おれんじ鉄道

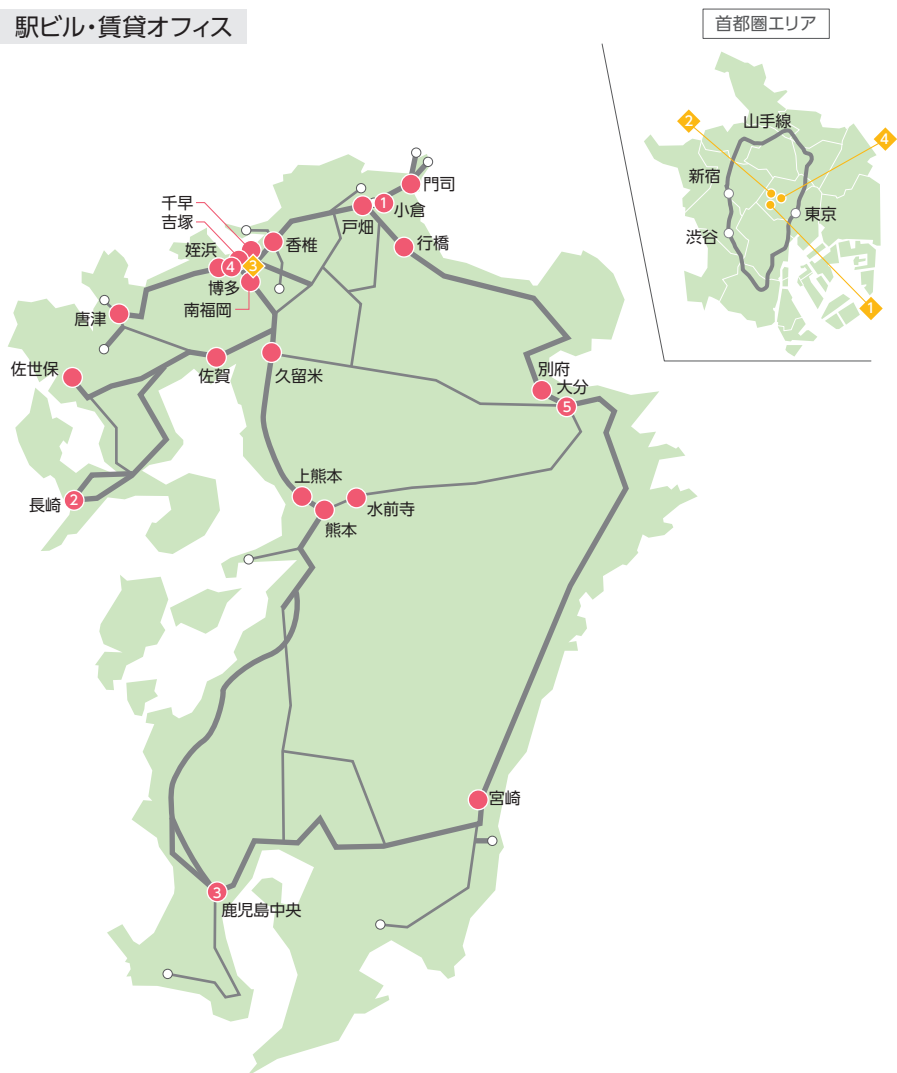


### 鹿児島ルート開業前後の到達時分(最速)の比較



## 駅ビル・不動産事業の展開

### 駅ビル・賃貸オフィス



### 各駅ビルの概要

名称	開業日	延床面積 (m <sup>2</sup> )	入館者数(万人) 2017/3期	テナント売上高(億円) 2017/3期
① アミュプラザ小倉	1998年3月14日	48,500	1,360	120
② アミュプラザ長崎	2000年9月21日	58,500	1,169	208
③ アミュプラザ鹿児島	2004年9月17日	65,000	1,764	264
④ JR博多シティ・アミュプラザ博多	2011年3月 3日	240,000 *博多阪急含む	7,055	1,061
⑤ JRおおいたシティ・アミュプラザ大分	2015年4月16日	154,000	2,221	223



①アミュプラザ小倉



②アミュプラザ長崎



③アミュプラザ鹿児島



④JR博多シティ・アミュプラザ博多



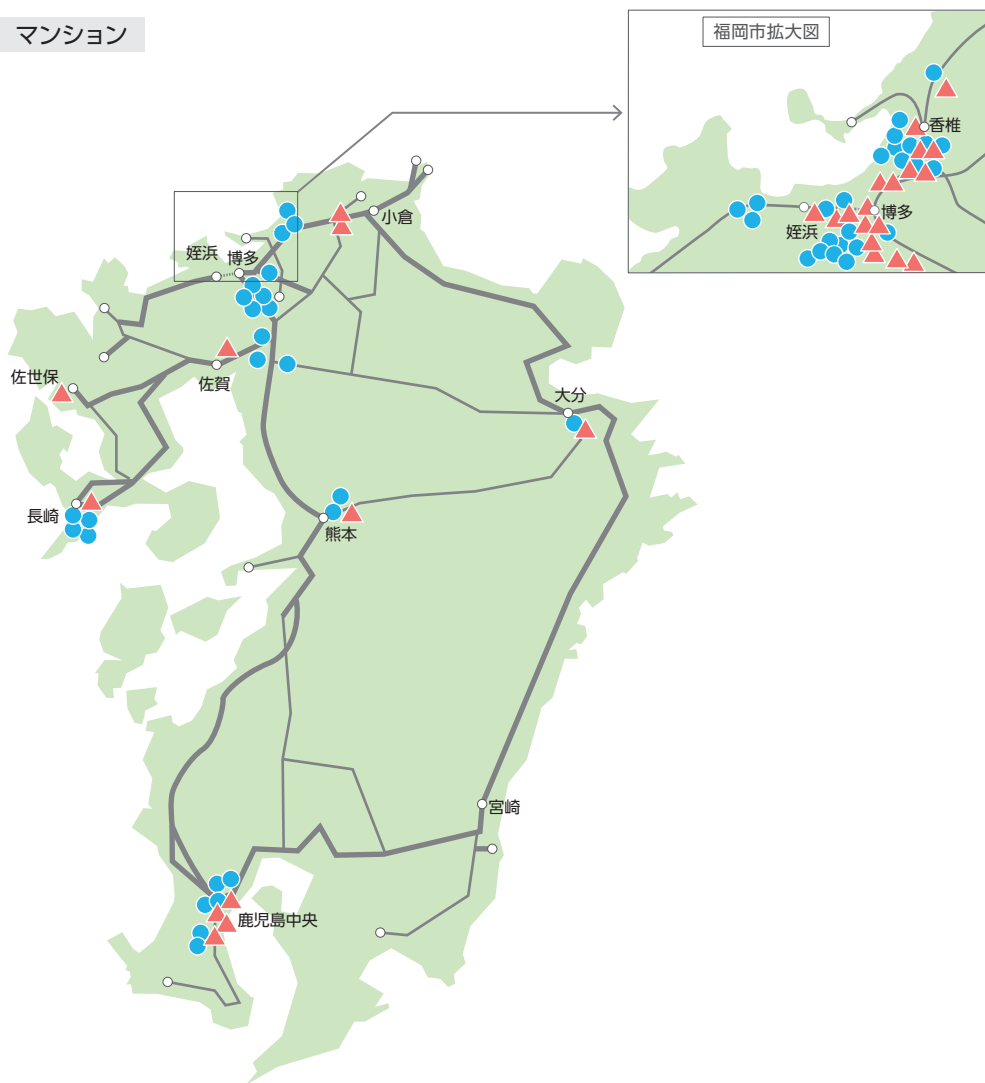
⑤JRおおいたシティ・アミュプラザ大分

### 賃貸オフィスの概要

	名称	取得年月	延床面積 (m <sup>2</sup> )
①	赤坂山王センタービル	2011年3月	5,000
②	二番町センタービル	2014年3月	44,000
③	JRJP博多ビル	2016年4月	44,000
④	平河町センタービル	2016年9月	8,000

## 駅ビル・不動産事業の展開

### マンション



▲ 賃貸マンション

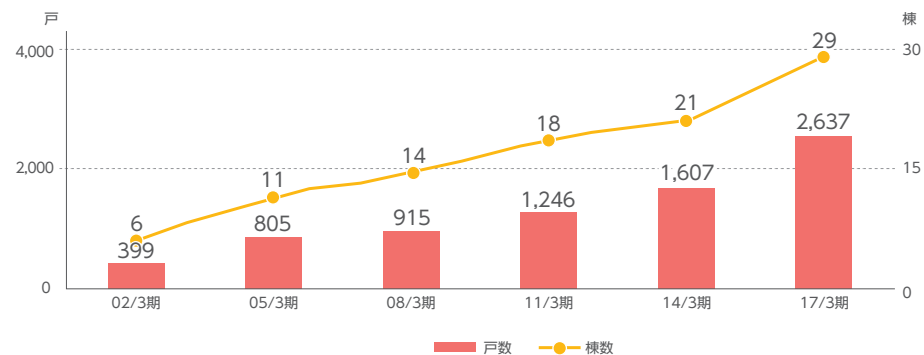
● 分譲マンション\*

\*50戸以上の物件を掲載(共同事業物件を含む)

2017年7月現在で引渡・開業済の物件を掲載

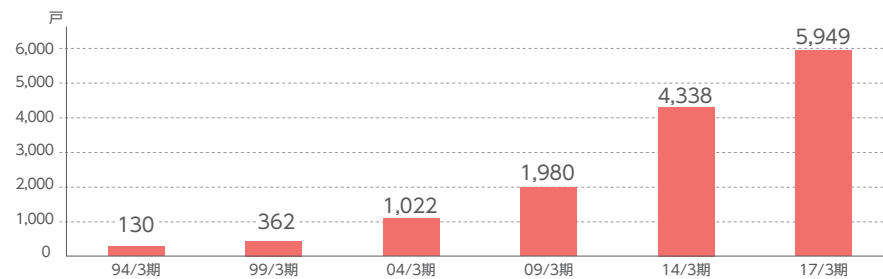
### 賃貸マンション

#### 竣工戸数及び棟数の推移(累計)



### 分譲マンション

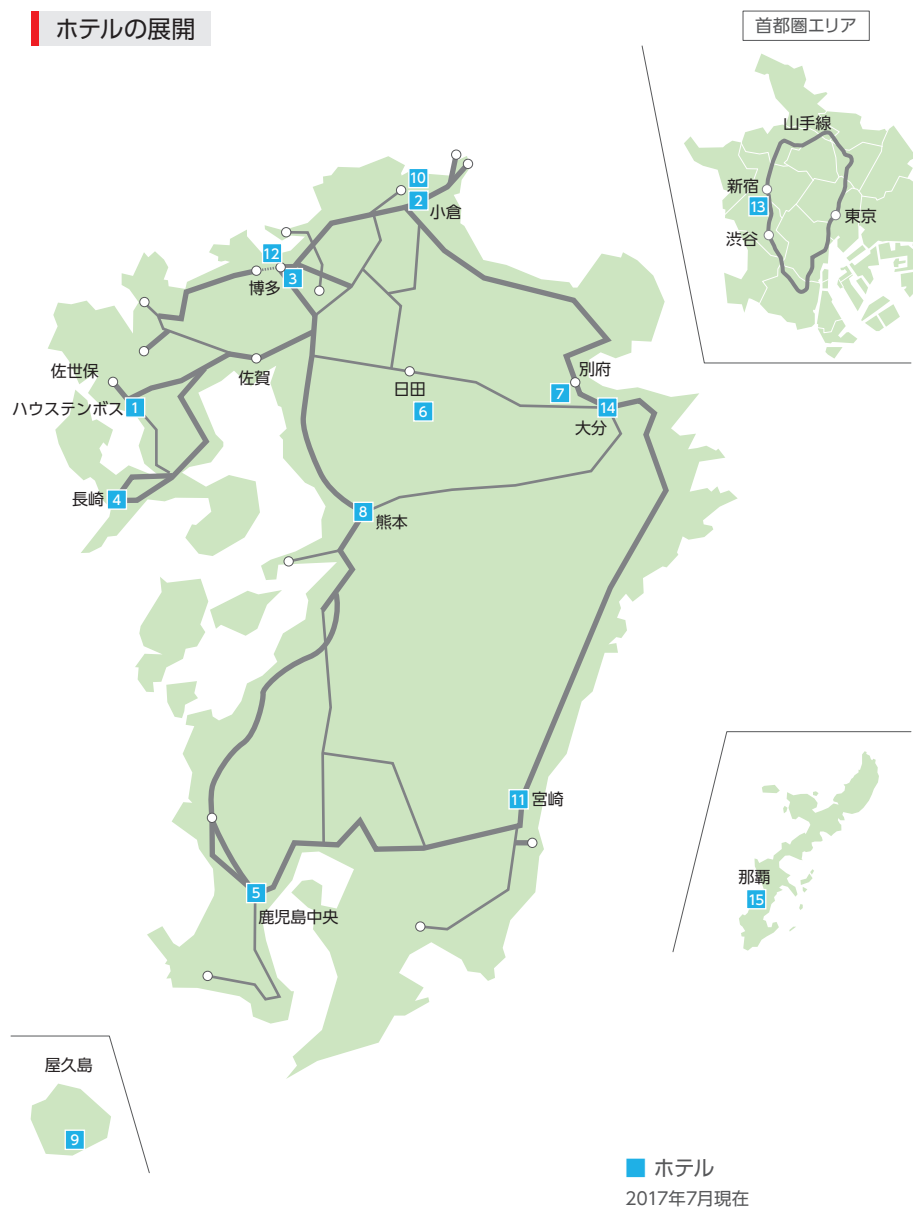
#### 引渡戸数の推移(累計)



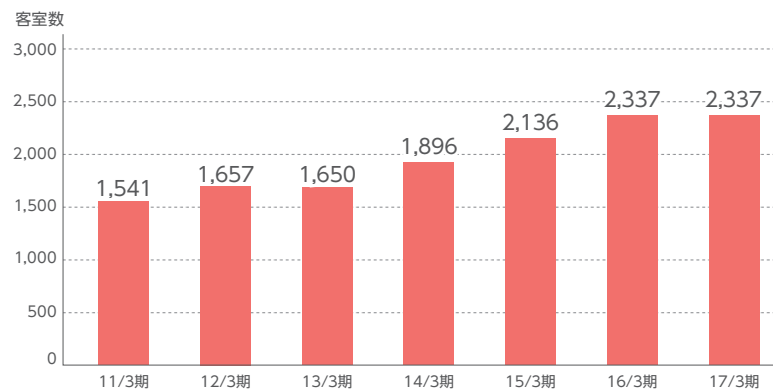
※リノベーション含む

## その他事業の展開

### ホテルの展開



### JR九州グループ ホテル客室数の推移(累計)



### 各ホテルの客室数・開業日

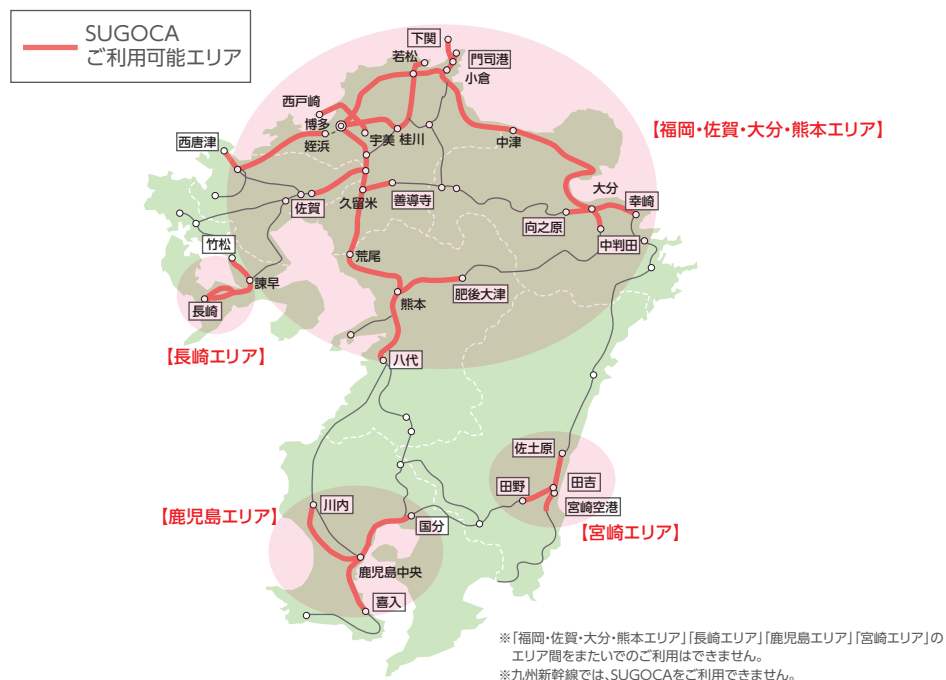
	ホテル名	客室数	開業日
1	ホテルオークラJRハウステンボス	320	1995年 6月 1日 (2012年4月1日リブランドオープン)
2	ステーションホテル小倉	294	1998年 4月27日
3	JR九州ホテル ブラッサム福岡	90	1999年 6月 1日 (2011年7月2日リブランドオープン)
4	JR九州ホテル長崎	144	2000年 9月22日
5	JR九州ホテル鹿児島	247	2001年8月1日(南館)、2010年3月19日(北館)
6	奥日田温泉 うめびき	11(32) <sup>*</sup>	2002年11月 (2017年11月リブランドオープン予定)
7	別府温泉 竹と椿のお宿 花べっぴ	30	2003年 9月18日 (2012年4月27日リブランドオープン)
8	JR九州ホテル熊本	150	2004年 3月 9日
9	JRホテル屋久島	46	2005年10月 1日
10	JR九州ホテル小倉	187	2007年 9月30日
11	JR九州ホテル宮崎	141	2011年11月 3日
12	JR九州ホテル ブラッサム博多中央	247	2013年 4月 8日
13	JR九州ホテル ブラッサム新宿	240	2014年 8月 8日
14	JR九州ホテル ブラッサム大分	190	2015年 4月23日
15	JR九州ホテル ブラッサム那覇	218	2017年 6月24日

※( )はリブランドオープン後の客室数

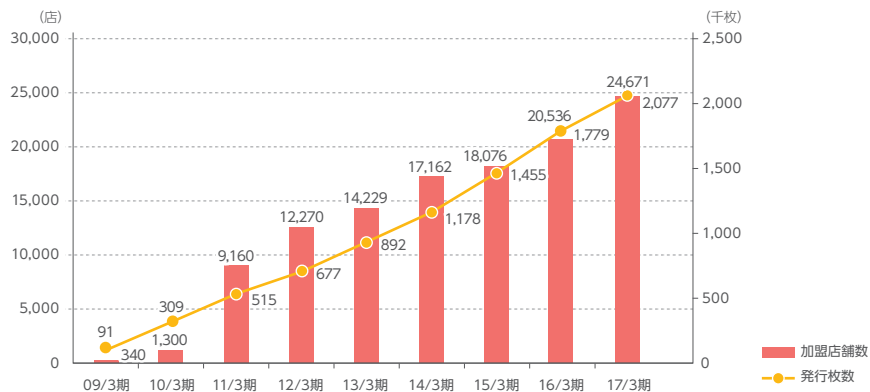


その他事業の展開

ICカード事業の展開

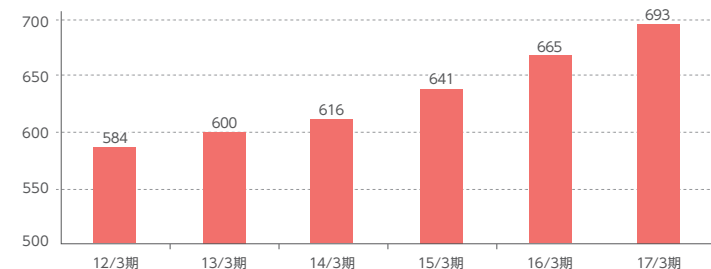


電子マネー加盟店舗数及びSUGOCA発行枚数の推移



流通・外食事業の展開

流通外食セグメントの店舗数の推移



JRキューポ

2017年7月7日サービス開始

JR九州のポイント  
JRキューポ

ポイントとの連携

JQ POINT

eレールポイント

SUGOCAポイント

JR九州のポイント  
JRキューポ

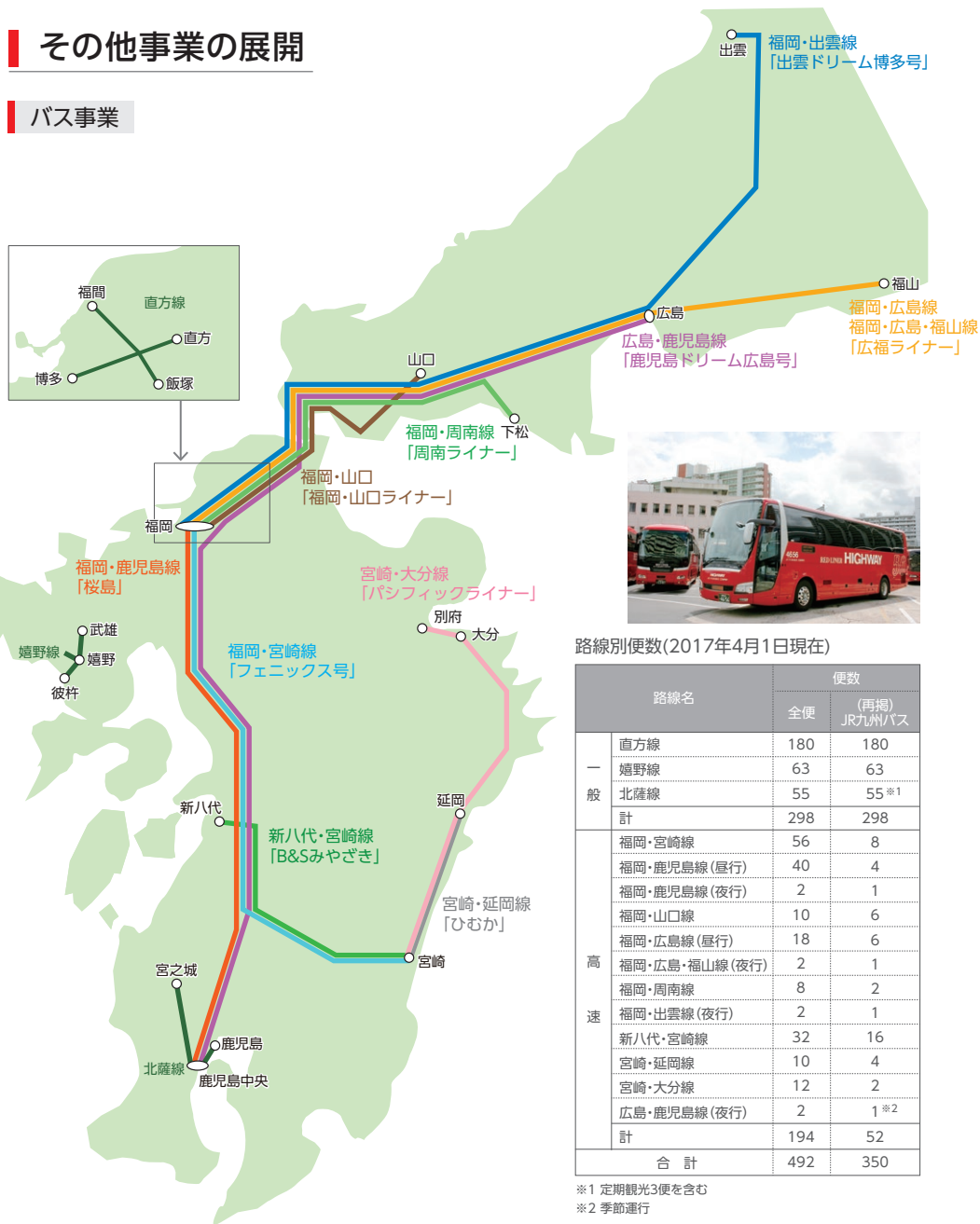
ドラッグイレブンとファミリーマートの融合店

八百屋の九ちゃん (千早店)

トランドール (博多駅店)

### その他事業の展開

#### バス事業



路線別便数(2017年4月1日現在)

路線名	便数	
	全便	(再掲) JR九州バス
直方線	180	180
一 嬉野線	63	63
北薩線	55	55※1
計	298	298
高 福岡・宮崎線	56	8
福岡・鹿兒島線(昼行)	40	4
福岡・鹿兒島線(夜行)	2	1
福岡・山口線	10	6
福岡・広島線(昼行)	18	6
福岡・広島・福山線(夜行)	2	1
福岡・周南線	8	2
福岡・出雲線(夜行)	2	1
速 新八代・宮崎線	32	16
宮崎・延岡線	10	4
宮崎・大分線	12	2
広島・鹿兒島線(夜行)	2	1※2
計	194	52
合計	492	350

※1 定期観光3便を含む  
 ※2 季節運行

#### 船舶事業



ターミナル  
 福岡(博多港国際ターミナル)  
 対馬(比田勝港)  
 釜山(釜山港国際ターミナル)

運行本数  
 福岡～釜山: 3往復/日  
 対馬～釜山: 2往復/日



#### 上海における外食事業

店舗名	赤坂うまや 上海静安本店	赤坂うまや 上海淮海中路店	うまやの麺麵麵 崑山关路店	赤坂うまや 上海環球金融中心店
開業日	2012年2月15日	2014年2月21日	2015年2月18日	2015年5月4日
店舗規模	673㎡	300㎡	37㎡	138㎡
客席数	163席	96席	— オフィスビル フードコート内	50席



赤坂うまや 上海静安本店 赤坂うまや 上海淮海中路店 うまやの麺麵麵 崑山关路店 赤坂うまや 上海環球金融中心店

## 今後の開発計画

### 六本松開発プロジェクト

#### 東街区

施設名称:六本松4 2 1、SJR六本松

所在地:福岡市中央区六本松四丁目2番1、2

敷地面積:約9,950㎡

延床面積:約37,000㎡

構造・規模:六本松4 2 1 鉄骨造 地下1階～地上6階  
SJR六本松 鉄筋コンクリート造 地上1階～地上13階  
駐車場 鉄骨造 地上2階～地上5階

用途:商業、科学館、大学院、住宅型有料老人ホーム、駐車場

スケジュール:2015年10月 工事着手

2017年 9月 開業(予定)

#### 西街区

施設名称:MJR六本松

所在地:福岡市中央区六本松四丁目2番6

敷地面積:約11,200㎡

延床面積:約43,650㎡

構造・規模:鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

分譲マンション 地上2階～地上14階

商業施設 地上1階

総戸数:351戸(住戸)

スケジュール:2015年3月 工事着手

2015年7月 販売開始

2017年3月 引渡し開始



※イラストはイメージです。

### 熊本駅周辺開発

開発エリア:熊本県熊本市西区春日3丁目15番地他

敷地面積:約70,000㎡(高架下含む)

延床面積:約110,000㎡

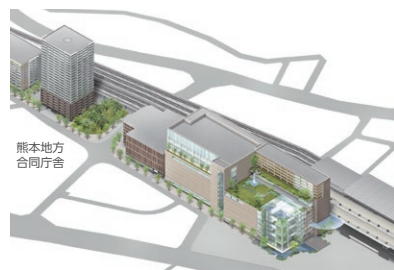
用途:駅ビル(商業、ホテル等)  
住居(マンション等)  
駐車場等

スケジュール:2017年度末

鹿児島本線(熊本駅部)、

豊肥本線高架切替(予定)

2019年春頃～工事着手(予定)



※イラストはイメージです。

### 新橋一丁目ホテル計画

施設名称:未定

所在地:東京都港区新橋一丁目1-13

延床面積:約10,400㎡

階層:18～27階

客室数:267室(予定)

開業時期:2019年秋(予定)



※イラストはイメージです。

### ブランドプレシア芝浦

所在地:東京都港区芝浦4丁目9番

敷地面積:約2,250㎡

延床面積:約12,000㎡

階層:16階(1階店舗、2～16階住居)

総戸数:234戸

開業時期:2018年秋(予定)



※イラストはイメージです。

資産タイプ	名称	所在地	総戸数(予定)	引渡・入居開始年度(予定)	
				2018年3月期	2019年3月期
分譲マンション	MJR九大学研都市レジデンス	福岡市西区	161	✓	
	MJR赤坂タワー	福岡市中央区	172	✓	
	MJRザ・ガーデン大江	熊本市中央区	193	✓	
	MJR九品寺テラス	熊本市中央区	64		✓
	MJRザ・ガーデン鹿児島中央	鹿児島市上荒田町	472		✓
	MJR大野城駅前	福岡県大野城市	52		✓
	MJR桜坂ザ・レジデンス	福岡市中央区	26		✓
	(仮)MJR清水町	鹿児島市清水町	51		✓
(仮)MJR新大江	熊本市中央区	28		✓	
賃貸マンション	(仮)RJR大分駅前II	大分市	130	✓	
	(仮)RJR千代県庁口	福岡市博多区	132	✓	
	(仮)RJR西公園	福岡市中央区	45	✓	
	ブランドプレシア芝浦	東京都港区	234		✓
	(仮)RJR郡元II	鹿児島市	142		✓
(仮)RJR博多駅南	福岡市博多区	140		✓	

## 環境への取り組み

### 地球環境保全活動の基本理念

#### 基本理念

JR九州グループは、総力をあげて地球環境保全に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献します。

#### 基本方針

- 1.地球環境保全に関する技術の導入や創意工夫により、効率的なエネルギーの利用を推進し、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>排出量削減に努めます。
- 2.廃棄物の削減やリサイクルを進め資源の有効活用にも努めるとともに、環境汚染物質を適正に管理・処理します。
- 3.環境にやさしい鉄道をより多くのお客さまにご利用いただけるよう安全で快適な輸送サービスの提供に努めます。

### 地球温暖化防止に向けた数値目標

JR九州では、地球温暖化問題について、2002年度に自主的な行動計画として「JR九州ボランティアプラン」を設定し、2010年度において目標を達成しました。

2015年9月、JR九州では温暖化対策にさらなる貢献を果たすため、「JR九州低炭素社会実行計画」を策定しました。今後も省エネ型車両の導入などを進め、地球温暖化対策に取り組みます。

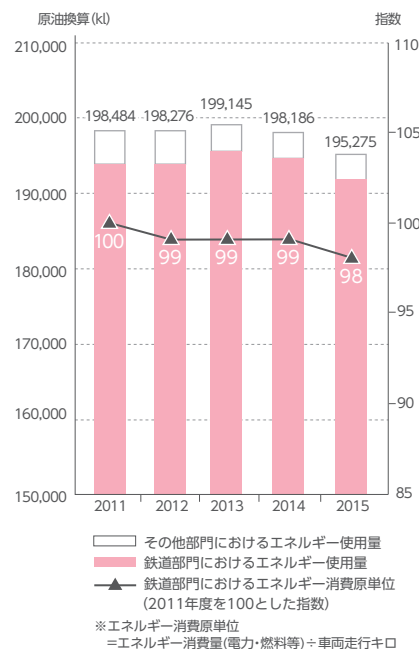
### JR九州低炭素社会実行計画

鉄道部分において、2030年度までに

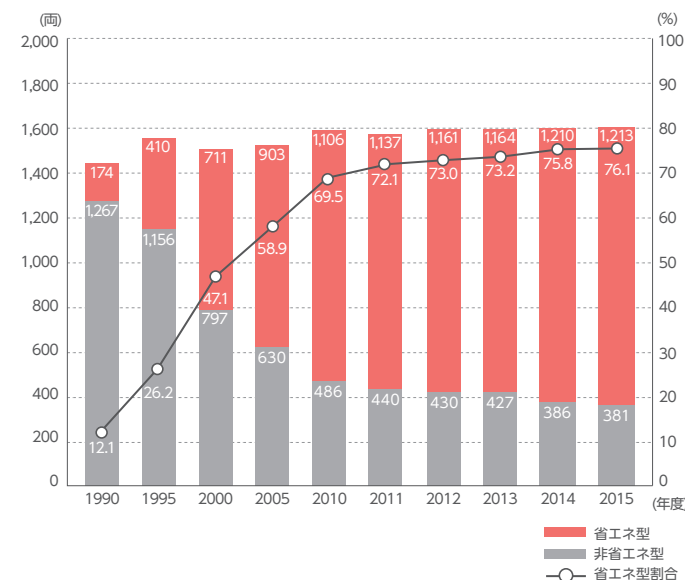
- ①省エネ型車両の導入割合を83%にする
- ②エネルギー消費原単位を2011年度比で2.5%削減する

なお、将来的な輸送体系の変化等を踏まえ、必要に応じて目標の見直しを行う

### エネルギー使用量及び エネルギー消費原単位の推移(単体)



### 省エネ型車両の推移



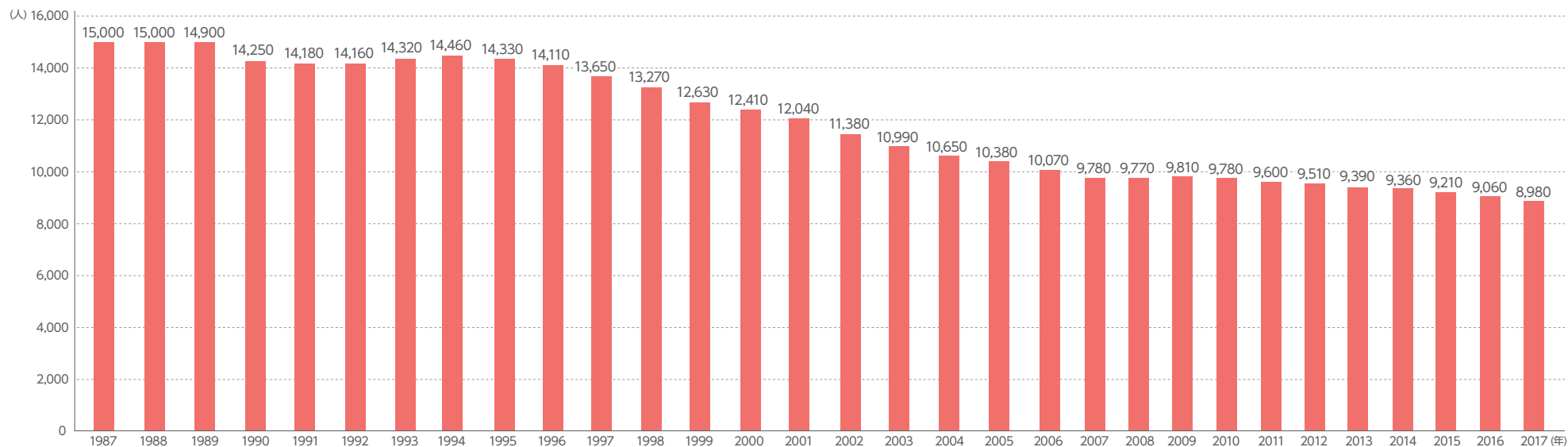
### 架線式蓄電池電車「DENCHA」

エコでスマートな「人と地球の未来にやさしい」次世代の車両として、国内初の交流電化方式の架線式蓄電池電車「DENCHA」が筑豊本線において営業運転を開始しました。従来の気動車と比べ、エネルギー使用量(原油換算)及びCO<sub>2</sub>排出量の大幅な削減が見込まれるほか、排ガスの排出量がゼロになります。

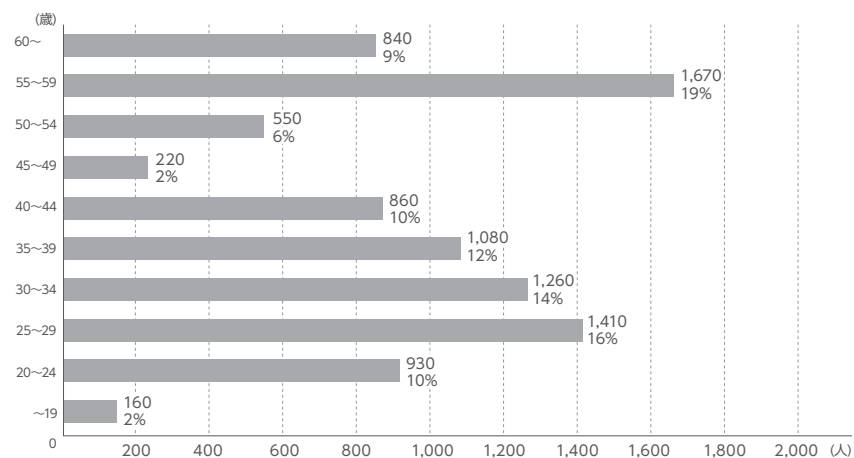


## 社員の状況

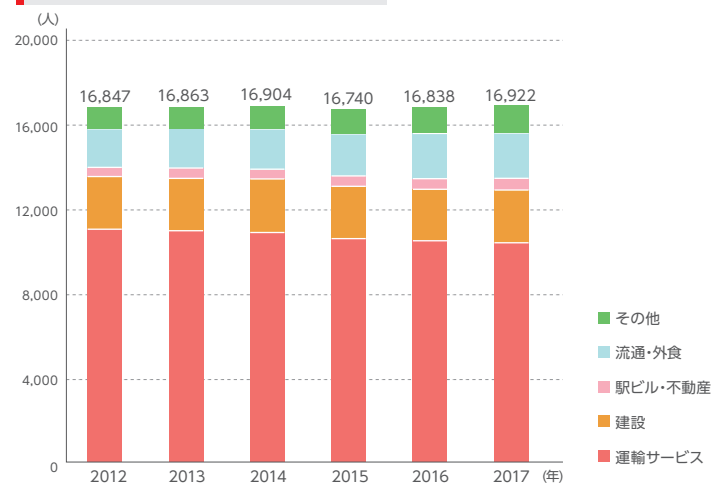
単体社員数の推移 各年4月1日現在の在籍社員数



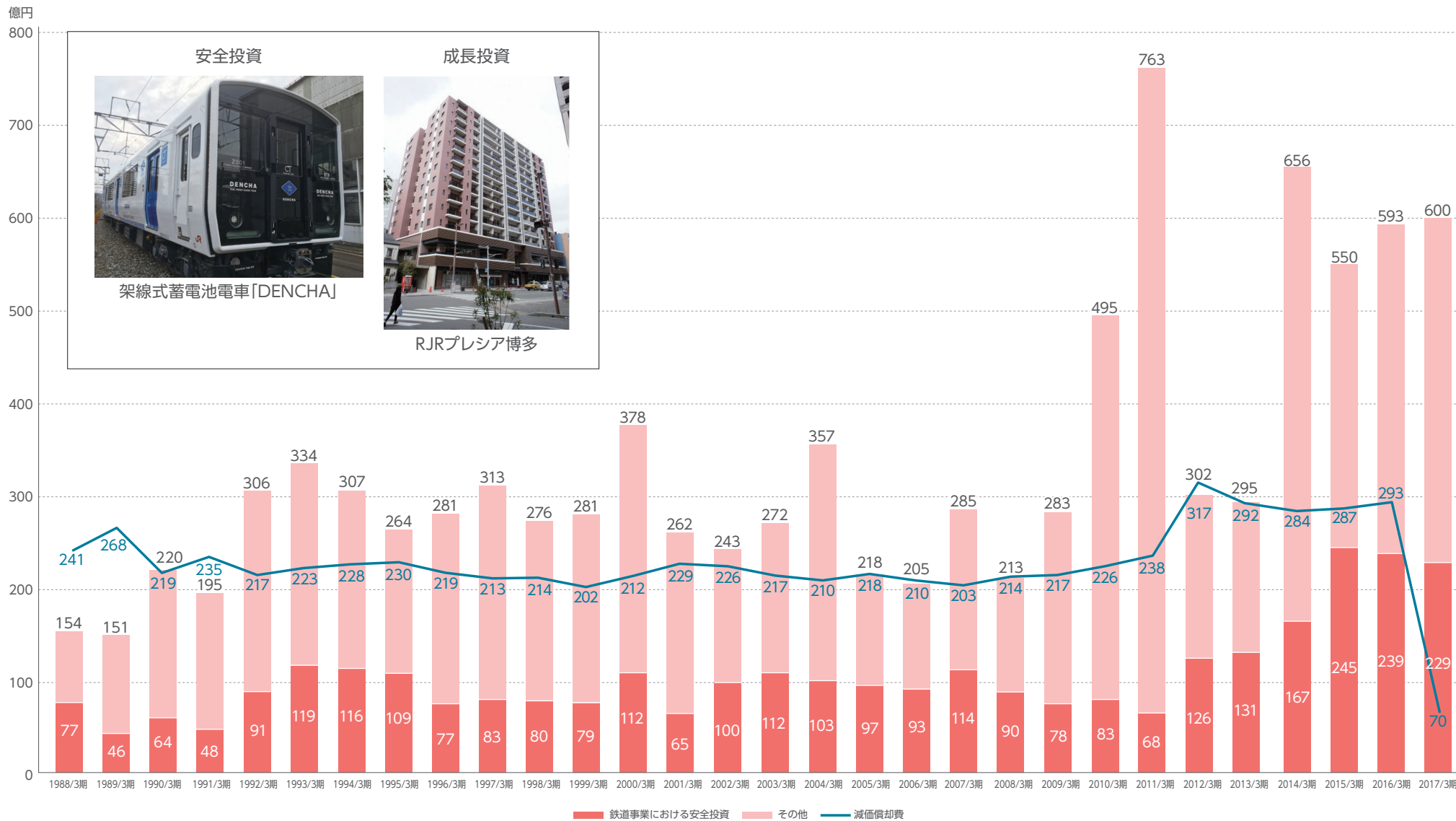
単体社員の年齢構成 2017年4月1日現在



連結従業員数の推移 各年3月31日現在



設備投資額の推移(単体)



## 決算データ(連結)

(単位:億円)

	2003/3期	2004/3期	2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期
資産の部合計	9,978	9,760	9,746	9,695	9,869	9,777	9,478	9,756	10,166	10,086	10,398	11,062	11,409	6,466	6,766
負債の部合計	3,457	3,185	3,061	3,001	3,035	2,929	2,680	2,858	3,256	3,061	3,099	3,659	3,697	3,409	3,282
資本の部合計	6,455	6,502	6,611	6,621	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非支配株主持分*	66	72	72	73	(73)	(60)	(54)	(58)	(61)	(67)	(75)	(77)	(47)	(54)	(54)
純資産の部合計	—	—	—	—	6,834	6,848	6,798	6,897	6,910	7,024	7,298	7,403	7,712	3,057	3,484
営業収益(外部売上高)	2,348	2,516	2,547	2,564	2,658	3,112	2,999	2,926	2,971	3,328	3,428	3,548	3,574	3,779	3,829
運輸サービス	1,377	1,376	1,465	1,474	1,490	1,505	1,477	1,379	1,403	1,670	1,688	1,706	1,704	1,763	1,716
建設	181	341	238	202	243	294	222	323	337	222	277	318	268	246	232
駅ビル・不動産	191	193	227	247	261	248	228	290	320	432	432	450	485	562	609
流通・外食	391	393	404	408	411	804	817	767	759	836	851	881	899	958	1,001
その他	207	213	210	232	251	259	253	164	150	166	178	191	217	249	269
営業利益	▲3	15	40	50	74	82	76	19	20	147	120	90	127	208	587
運輸サービス	▲84	▲83	▲39	▲57	▲0	▲43	▲36	▲105	▲114	▲99	▲110	▲149	▲132	▲105	257
建設	8	29	12	10	14	15	7	28	26	31	35	40	43	61	59
駅ビル・不動産	64	71	62	95	45	96	95	92	99	182	160	167	184	204	226
流通・外食	6	5	4	8	11	20	16	16	11	24	26	31	24	34	34
その他	2	▲0	0	▲2	2	▲0	▲1	▲2	4	9	6	9	16	24	25
調整額	▲0	▲6	▲1	▲3	1	▲5	▲4	▲10	▲6	▲0	1	▲8	▲9	▲9	▲16
営業外損益	86	86	87	81	94	94	69	69	65	55	52	121	127	111	18
営業外収益	18	15	8	7	10	13	12	10	8	8	7	7	8	7	29
営業外費用	79	71	71	68	67	60	63	54	54	54	52	6	6	7	11
経営安定基金運用収益	147	142	149	143	151	141	120	113	111	101	97	120	125	111	—
経常利益	83	102	127	132	169	177	146	88	86	202	173	212	255	320	605
特別損益	4	17	22	▲117	52	▲8	▲99	▲20	▲26	▲6	▲46	11	21	▲4,764	▲49
特別利益	264	184	220	128	205	153	207	112	184	213	104	112	363	697	306
特別損失	259	166	197	245	153	161	307	132	211	219	151	101	342	5,462	355
親会社株主に帰属する当期純利益	38	52	110	▲10	133	92	18	22	21	67	60	115	150	▲4,330	447
営業活動によるキャッシュフロー	324	384	352	407	511	305	197	361	387	484	446	396	461	634	285
投資活動によるキャッシュフロー	▲220	▲176	▲277	▲225	▲500	▲312	▲141	▲507	▲798	▲485	▲445	▲590	▲692	90	▲183
フリー・キャッシュフロー	103	208	74	182	11	▲6	55	▲146	▲410	▲1	1	▲194	▲231	724	102
財務活動によるキャッシュフロー	▲161	▲134	▲18	▲82	▲58	▲95	▲155	9	387	▲5	▲9	221	198	▲400	▲6
現金及び現金同等物の増減額	▲58	75	56	100	▲46	▲103	▲99	▲136	▲23	▲5	▲7	26	▲30	324	95

※2006年5月1日の会社法施行により「資本の部」が廃止になり「純資産の部」が新設されました。それに伴い表記方法を変更しております。なお、非支配株主持分(従来の少数株主持分)は、2007/3期以降は純資産に含まれており、( )にて再掲しております。

※2013年3月期以前については出向者人件費差額を営業外費用として計上し、2014年3月期以降については出向者人件費差額を営業費用として計上しております。

## 決算データ(単体)

(単位:億円)

	1988 /3期	1989 /3期	1990 /3期	1991 /3期	1992 /3期	1993 /3期	1994 /3期	1995 /3期	1996 /3期	1997 /3期	1998 /3期	1999 /3期	2000 /3期	2001 /3期	2002 /3期	2003 /3期	2004 /3期	2005 /3期	2006 /3期	2007 /3期	2008 /3期	2009 /3期	2010 /3期	2011 /3期	2012 /3期	2013 /3期	2014 /3期	2015 /3期	2016 /3期	2017 /3期
資産の部合計	7,801	7,762	7,950	7,959	8,122	8,093	8,215	8,219	8,396	8,506	8,656	8,505	9,262	9,416	9,133	9,070	8,988	8,921	8,941	9,093	8,979	8,819	9,032	9,345	9,279	9,574	10,157	10,482	5,369	5,555
負債の部合計	801	750	900	903	1,046	1,000	1,118	1,127	1,300	1,399	1,545	2,749	2,866	2,860	2,658	2,610	2,507	2,411	2,402	2,456	2,323	2,209	2,338	2,635	2,494	2,563	3,032	3,079	2,745	2,580
資本の部合計	6,999	7,011	7,049	7,056	7,075	7,093	7,097	7,091	7,096	7,106	7,111	5,756	6,395	6,555	6,475	6,460	6,481	6,509	6,539	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
純資産の部合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6,637	6,655	6,610	6,694	6,710	6,785	7,010	7,125	7,402	2,623	2,975
営業収益	1,298	1,396	1,439	1,507	1,604	1,672	1,725	1,699	1,766	1,767	1,689	1,590	1,611	1,605	1,529	1,497	1,503	1,602	1,606	1,620	1,611	1,570	1,543	1,584	1,907	1,930	1,961	2,001	2,111	2,122
鉄道事業	1,266	1,358	1,297	1,314	1,365	1,439	1,442	1,423	1,455	1,545	1,462	1,425	1,388	1,379	1,346	1,308	1,311	1,391	1,399	1,410	1,410	1,387	1,298	1,329	1,599	1,610	1,625	1,632	1,691	1,649
運輸収入	1,069	1,108	1,108	1,124	1,152	1,202	1,198	1,197	1,221	1,304	1,252	1,222	1,189	1,175	1,142	1,114	1,119	1,204	1,201	1,203	1,215	1,209	1,144	1,168	1,416	1,412	1,439	1,450	1,501	1,464
その他収入	197	249	188	189	212	237	244	226	234	240	210	202	199	203	204	194	191	187	197	207	194	178	154	160	183	198	186	182	190	185
関連事業収入	32	37	142	192	238	231	281	275	309	220	226	164	221	225	181	188	191	210	207	210	201	182	245	255	307	319	335	368	419	472
営業費用	1,587	1,681	1,727	1,794	1,886	1,947	1,993	1,959	1,997	1,944	1,863	1,721	1,740	1,729	1,652	1,531	1,529	1,597	1,591	1,599	1,583	1,527	1,568	1,615	1,864	1,914	1,980	1,982	2,056	1,687
人件費	768	802	914	883	912	949	961	976	963	1,003	983	915	838	801	782	671	624	596	569	558	561	553	533	535	533	543	582	557	542	531
物件費	559	591	571	649	730	745	777	724	782	692	627	569	655	662	606	602	657	740	767	795	764	713	764	798	969	1,027	1,062	1,085	1,162	1,025
動力費	73	75	80	90	90	93	93	88	85	83	83	73	71	69	68	66	68	69	65	62	64	68	61	62	75	79	94	97	88	80
修繕費	218	215	170	185	215	211	208	184	204	194	175	182	202	217	202	203	217	244	301	281	302	268	279	293	322	329	340	365	389	378
業務費	267	299	320	373	423	439	475	450	492	414	367	313	380	374	335	332	371	426	400	451	397	375	424	442	571	618	627	623	684	566
租税公課	17	19	21	26	26	28	25	27	32	34	37	33	34	36	36	39	37	42	43	42	42	42	43	43	44	51	50	51	58	60
減価償却費	241	268	219	235	217	223	228	230	219	213	214	202	212	229	226	217	210	218	210	203	214	217	226	238	317	292	284	287	293	70
営業利益	▲288	▲285	▲287	▲287	▲281	▲274	▲267	▲260	▲231	▲177	▲173	▲130	▲129	▲123	▲122	▲34	▲26	4	15	21	27	42	▲24	▲31	42	15	▲19	18	54	434
うち鉄道事業	▲280	▲276	▲232	▲208	▲205	▲207	▲214	▲203	▲183	▲140	▲173	▲136	▲139	▲145	▲168	▲89	▲82	▲40	▲57	▲7	▲53	▲39	▲109	▲122	▲104	▲117	▲156	▲140	▲115	250
うちその他事業	▲7	▲8	▲55	▲78	▲76	▲66	▲53	▲56	▲47	▲37	▲0	6	9	22	45	55	56	45	73	28	81	81	84	91	147	132	137	159	169	184
営業外損益	303	315	326	326	323	310	282	255	238	196	184	165	182	180	177	91	88	89	83	97	101	74	73	78	59	60	135	145	128	40
営業外収益	21	35	47	52	50	38	34	22	26	20	22	10	18	11	10	14	12	5	4	9	12	13	12	19	11	15	22	25	24	51
営業外費用	1	2	3	7	5	3	1	4	3	2	5	1	1	1	2	70	66	66	64	63	52	59	53	51	52	53	7	5	6	10
経営安定基金運用収益	283	283	282	281	279	275	250	237	215	179	167	156	165	170	169	147	142	149	143	151	141	120	113	111	101	97	120	125	111	—
経常利益	15	30	38	39	42	35	14	▲5	7	19	10	34	52	56	55	57	62	93	99	118	129	117	48	46	102	75	116	163	182	475
特別損益	20	14	7	▲9	▲7	1	▲5	3	5	7	11	▲1,388	0	0	0	▲9	▲3	▲47	▲45	46	1	▲92	▲9	▲4	8	▲41	7	9	▲4,819	▲42
特別利益	39	44	38	25	16	2	16	21	13	7	26	5	58	33	117	256	177	213	121	197	141	187	98	152	207	103	103	342	694	302
特別損失	18	30	31	34	24	0	21	18	8	0	15	1,394	58	33	117	265	181	261	166	150	140	279	108	156	199	144	95	332	5,513	345
当期純利益	9	11	38	6	18	18	3	▲5	4	10	5	▲1,355	28	30	11	12	26	29	9	89	77	16	18	28	33	20	72	95	▲4,444	376

※2006年5月1日の会社法施行により「資本の部」が廃止になり「純資産の部」が新設されました。それに伴い表記方法を変更しております。

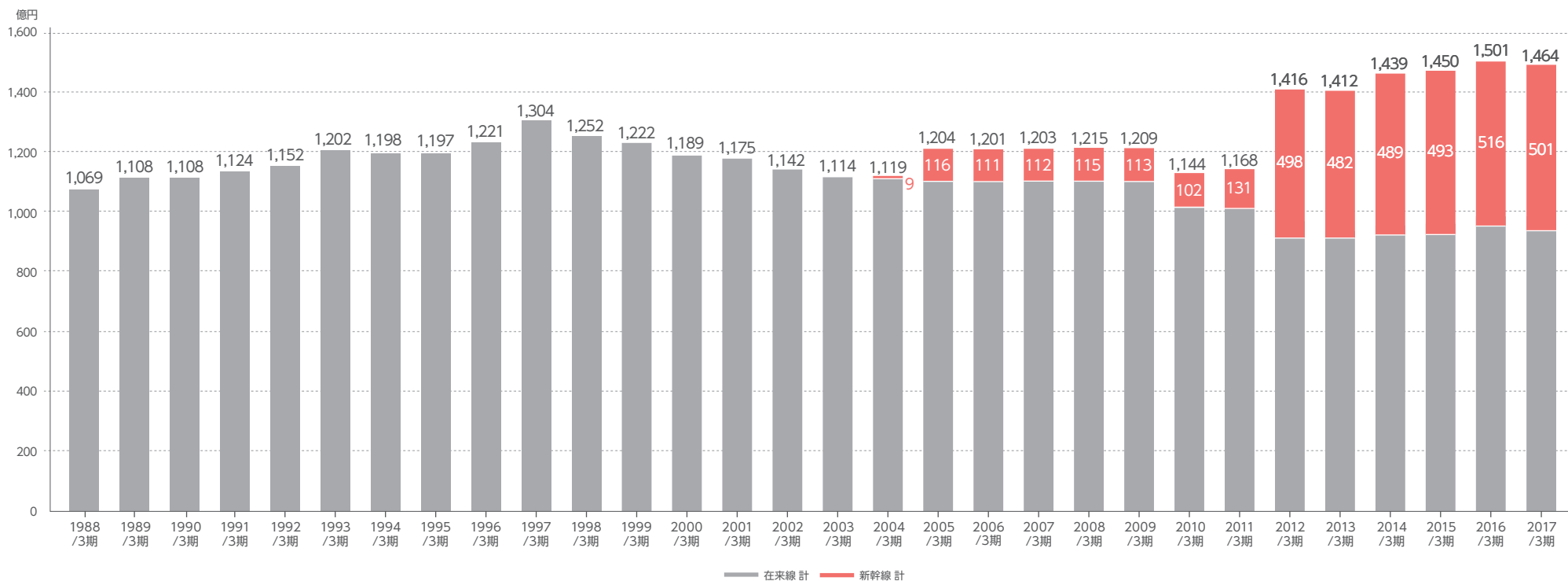
※2003年3月期から営業外費用に計上していた出向者人件費差額は、2014年3月期から営業費用として計上しております。



## 鉄道運輸収入の推移

(単位:億円)

		1988 /3期	1989 /3期	1990 /3期	1991 /3期	1992 /3期	1993 /3期	1994 /3期	1995 /3期	1996 /3期	1997 /3期	1998 /3期	1999 /3期	2000 /3期	2001 /3期	2002 /3期	2003 /3期	2004 /3期	2005 /3期	2006 /3期	2007 /3期	2008 /3期	2009 /3期	2010 /3期	2011 /3期	2012 /3期	2013 /3期	2014 /3期	2015 /3期	2016 /3期	2017 /3期
新幹線	定期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	2	4	5	6	6	7	8	20	23	24	25	26	26
	定期外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	113	107	107	108	106	94	123	477	459	464	467	490	474
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	116	111	112	115	113	102	131	498	482	489	493	516	501
在来線	定期	206	205	206	217	226	235	241	248	257	286	284	286	283	280	281	278	278	278	279	282	283	286	284	286	288	291	296	293	295	294
	定期外	862	903	902	907	926	966	956	949	964	1,018	968	935	906	894	860	836	832	809	810	808	816	809	758	750	630	637	654	663	688	668
	計	1,069	1,108	1,108	1,124	1,152	1,202	1,198	1,197	1,221	1,304	1,252	1,222	1,189	1,175	1,142	1,114	1,110	1,088	1,089	1,090	1,100	1,095	1,042	1,037	918	929	950	957	984	963
合計	定期	206	205	206	217	226	235	241	248	257	286	284	286	283	280	281	278	278	281	284	287	290	293	291	294	309	314	320	319	322	321
	定期外	862	903	902	907	926	966	956	949	964	1,018	968	935	906	894	860	836	841	922	917	915	925	916	852	874	1,107	1,097	1,118	1,131	1,179	1,143
	計	1,069	1,108	1,108	1,124	1,152	1,202	1,198	1,197	1,221	1,304	1,252	1,222	1,189	1,175	1,142	1,114	1,119	1,204	1,201	1,203	1,215	1,209	1,144	1,168	1,416	1,412	1,439	1,450	1,501	1,464



## 輸送データ (輸送人キロ、輸送人員、列車キロ、車両キロ)

### 輸送人キロ

(単位:百万人キロ)

		1988 /3期	1989 /3期	1990 /3期	1991 /3期	1992 /3期	1993 /3期	1994 /3期	1995 /3期	1996 /3期	1997 /3期	1998 /3期	1999 /3期	2000 /3期	2001 /3期	2002 /3期	2003 /3期	2004 /3期	2005 /3期	2006 /3期	2007 /3期	2008 /3期	2009 /3期	2010 /3期	2011 /3期	2012 /3期	2013 /3期	2014 /3期	2015 /3期	2016 /3期	2017 /3期
新幹線	定期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	21	37	44	50	53	58	66	157	176	186	188	194	196
	定期外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31	387	369	369	378	370	325	423	1,666	1,605	1,639	1,674	1,735	1,655
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	409	406	414	428	424	384	489	1,823	1,782	1,825	1,863	1,929	1,852
在来線	定期	3,087	3,133	3,236	3,378	3,521	3,644	3,737	3,855	3,951	3,979	3,903	3,911	3,865	3,831	3,819	3,780	3,803	3,794	3,813	3,824	3,830	3,843	3,820	3,870	3,915	3,943	4,069	3,946	4,026	4,018
	定期外	4,576	4,769	4,656	4,615	4,811	4,925	4,815	4,712	4,680	4,707	4,534	4,368	4,238	4,185	4,174	4,189	4,192	3,932	3,912	3,926	3,955	3,937	3,698	3,714	3,149	3,198	3,287	3,329	3,421	3,320
	計	7,664	7,903	7,892	7,993	8,333	8,570	8,553	8,568	8,632	8,686	8,438	8,280	8,103	8,016	7,994	7,970	7,996	7,727	7,725	7,751	7,786	7,780	7,518	7,585	7,064	7,141	7,357	7,275	7,448	7,339
合計	定期	3,087	3,133	3,236	3,378	3,521	3,644	3,737	3,855	3,951	3,979	3,903	3,911	3,865	3,831	3,819	3,780	3,804	3,816	3,850	3,869	3,880	3,896	3,879	3,936	4,073	4,119	4,256	4,134	4,221	4,214
	定期外	4,576	4,769	4,656	4,615	4,811	4,925	4,815	4,712	4,680	4,707	4,534	4,368	4,238	4,185	4,174	4,189	4,224	4,320	4,281	4,296	4,333	4,308	4,023	4,137	4,815	4,804	4,926	5,003	5,156	4,976
	計	7,664	7,903	7,892	7,993	8,333	8,570	8,553	8,568	8,632	8,686	8,438	8,280	8,103	8,016	7,994	7,970	8,029	8,136	8,131	8,165	8,214	8,205	7,902	8,074	8,888	8,924	9,182	9,138	9,378	9,191

### 輸送人員

(単位:百万人)

		1988 /3期	1989 /3期	1990 /3期	1991 /3期	1992 /3期	1993 /3期	1994 /3期	1995 /3期	1996 /3期	1997 /3期	1998 /3期	1999 /3期	2000 /3期	2001 /3期	2002 /3期	2003 /3期	2004 /3期	2005 /3期	2006 /3期	2007 /3期	2008 /3期	2009 /3期	2010 /3期	2011 /3期	2012 /3期	2013 /3期	2014 /3期	2015 /3期	2016 /3期	2017 /3期
合計	定期	155	159	167	175	182	188	193	197	201	203	199	199	197	195	194	190	190	190	190	191	192	194	193	196	201	203	211	206	212	213
	定期外	92	96	100	102	112	116	117	118	119	119	115	113	111	110	108	106	106	103	102	102	102	102	99	101	108	110	112	113	118	118
	計	247	256	267	277	295	305	311	316	321	323	314	312	309	306	303	297	297	293	292	294	295	296	292	297	310	314	323	319	330	331
新幹線	定期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	2	2	2
	定期外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	3	3	3	3	3	2	3	9	9	10	10	10	10
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	3	3	4	4	4	3	4	11	12	12	12	13	13

### 列車キロ、車両キロ

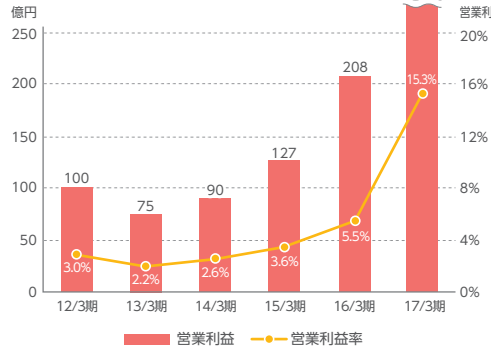
(単位:百万キロ)

		1988 /3期	1989 /3期	1990 /3期	1991 /3期	1992 /3期	1993 /3期	1994 /3期	1995 /3期	1996 /3期	1997 /3期	1998 /3期	1999 /3期	2000 /3期	2001 /3期	2002 /3期	2003 /3期	2004 /3期	2005 /3期	2006 /3期	2007 /3期	2008 /3期	2009 /3期	2010 /3期	2011 /3期	2012 /3期	2013 /3期	2014 /3期	2015 /3期	2016 /3期	2017 /3期	
列車キロ																																
	新幹線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	3	3	3	3	3	3	3	9	10	10	10	10	9	
	在来線	47	54	58	60	61	63	64	64	63	64	64	66	64	65	66	66	64	64	64	65	65	66	66	65	61	61	61	61	61	60	
	計	47	54	58	60	61	63	64	64	63	64	64	66	64	65	66	67	67	67	67	68	69	69	69	69	71	71	72	71	71	69	
車両キロ																																
	新幹線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	18	19	19	19	19	19	23	68	72	72	71	71	64	
	在来線	211	226	243	259	267	281	289	285	274	275	273	268	260	255	266	269	274	264	264	267	270	273	273	271	248	248	250	250	250	247	
	計	211	226	243	259	267	281	289	285	274	275	273	268	260	255	266	269	275	283	283	287	289	293	292	295	317	320	322	322	322	311	

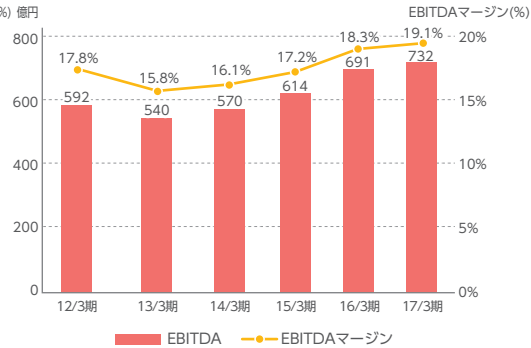
※新幹線の輸送人員は再掲

## ハイライト (連結)

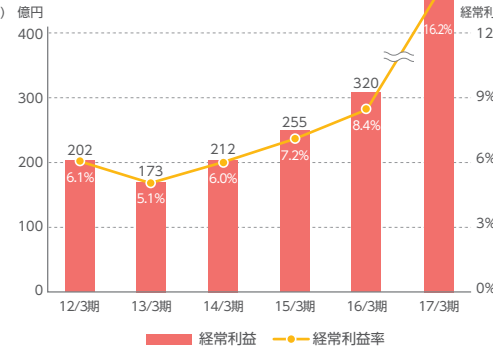
営業利益※1



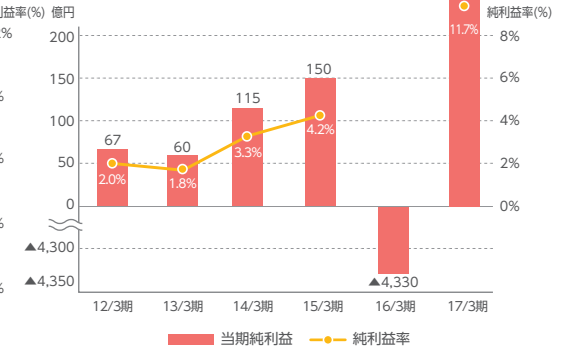
EBITDA※1.2



経常利益



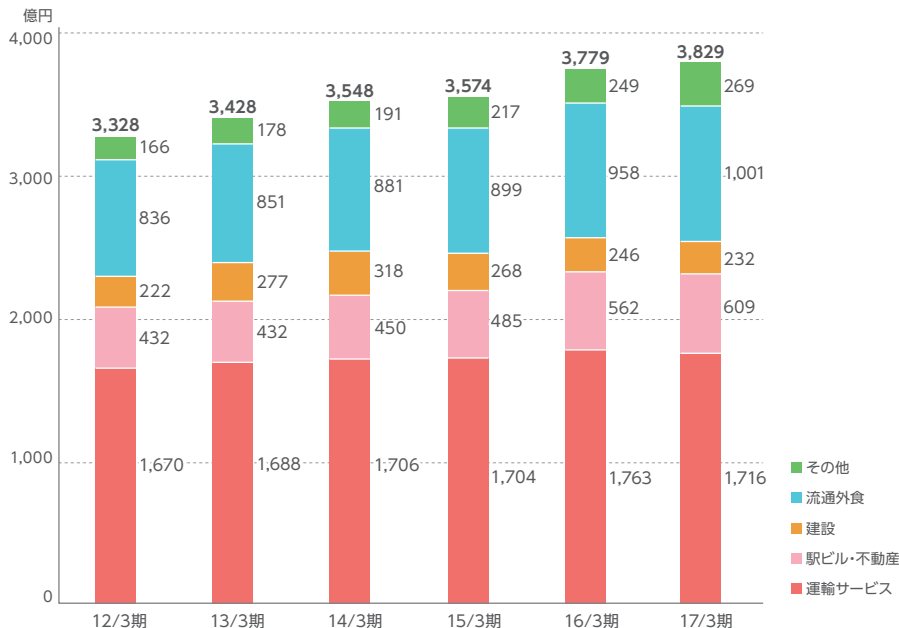
当期純利益



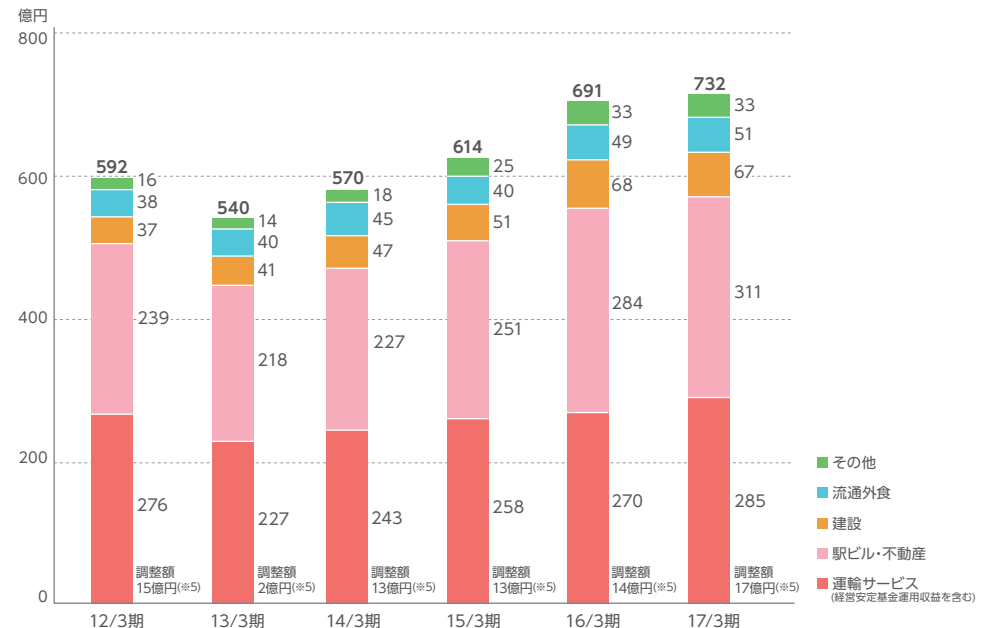
※1 2013年3月期以前については出向者人件費差額を営業費用に含まれるものとして減算し、算出しております。

※2 EBITDA=営業利益+減価償却費+経常安定基金運用収益(セグメント間取引消去後)、EBITDAマージン=EBITDA÷連結売上高

セグメント別外部売上高



セグメント別EBITDA※3.4



※3 セグメント別EBITDA=各セグメント営業利益+各セグメント減価償却費(セグメント間取引消去前)。  
 運輸サービスEBITDA=運輸サービスの営業利益+運輸サービスの減価償却費+経常安定基金運用収益(セグメント間取引消去前)。  
 2013年3月期以前については出向者人件費差額を営業費用に含まれるものとして減算し、算出しております。

※4 太字で示した数値は連結EBITDA(=営業利益+減価償却費+経常安定基金運用収益)であり、全社及びセグメント間の内部売上高又は振替高の消去を含むため、これらを含まないセグメント別EBITDAの合計とは一致しません。

※5 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

## 将来の見通しに関する記述について

本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、今後、国内外及び九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。